

# 官報

號外

明治二十九年三月十三日 金曜日

# 內閣官報局

○第九回 帝國議會衆議院議事速記錄第三十六號

明治二十九年三月十二日(木曜日)午後一時二十三分開議

議事日程 第三十六號 明治二十九年三月十二日

午後一時開議

第一 事業公債條例案(政府提出)	第一讀會ノ續(特別委員)
第二 日本勸業銀行法案(政府提出)	第一讀會ノ續(特別委員)
第三 農工銀行法案(政府提出)	第一讀會ノ續(特別委員)
第四 農工銀行補助法案(政府提出)	第一讀會ノ續(特別委員)
第五 裁判所ノ設立及位置並管轄區域ノ變更ニ關スル法律案(政府提出)	第一讀會ノ續(特別委員)
第六 大阪府下郡廢置法律案(政府提出)	第一讀會ノ續(特別委員)
第七 兵庫縣下郡廢置及郡界變更法律案(政府提出)	第一讀會ノ續(特別委員)
第八 群馬縣下郡廢置及郡界變更法律案(政府提出)	第一讀會ノ續(特別委員)
第九 千葉縣下郡廢置法律案(政府提出)	第一讀會ノ續(特別委員)
第十 茨城縣下郡廢置及郡界變更法律案(政府提出)	第一讀會ノ續(特別委員)
第十一 群馬縣下郡廢置及郡界變更法律案(政府提出)	第一讀會ノ續(特別委員)
第十二 栃木縣下郡廢置法律案(政府提出)	第一讀會ノ續(特別委員)
第十三 福島縣下郡廢置法律案(政府提出)	第一讀會ノ續(特別委員)
第十四 島根縣下郡廢置及郡界變更法律案(政府提出)	第一讀會ノ續(特別委員)
第十五 富山縣下郡分離及廢置法律案(政府提出)	第一讀會ノ續(特別委員)
第十六 鳥取縣下郡廢置法律案(政府提出)	第一讀會ノ續(特別委員)
第十七 島根縣下郡廢置法律案(政府提出)	第一讀會ノ續(特別委員)
第十八 熊本縣下郡廢置法律案(政府提出)	第一讀會ノ續(特別委員)

○議長(楠本正隆君) 諸君、是ヨリ諸般ノ報告ヲ爲シマスル 政府ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ	第一讀會ノ續(特別委員)
貴族院ニ於テ害蟲驅除豫防法案、官吏恩給法及官吏遺族扶助法補則法律案 ノ本院回付案ハ可決市制中東京市、京都市、大阪市ニ設ケタル特例廢止法 律案市制中追加法律案ニ對シテハ第二讀會ヲ開カサルコトヲ議決シタル旨 同院ヨリ通牒アリ	第一讀會ノ續(特別委員)
工藤行幹君尾崎行雄君大義毅君長谷場純孝君田口卯吉君大東義徹君大竹貫 一君金尾稜嚴君ヨリ朝鮮京城事變ニ關シ政府ヘ再質問書ヲ高木正年君ヨリ 外交及軍紀ニ關シ政府ヘ質問書ヲ提出セラレタリ 議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ	第一讀會ノ續(特別委員)
測候所増設ニ關スル建議案 提出者 濱田儀一郎君	第一讀會ノ續(特別委員)
高等教育ヲ獨立セシムルノ建議案 提出者 波多野傳三郎君	第一讀會ノ續(特別委員)
義勇兵團設置建議案 提出者 竹内正志君	第一讀會ノ續(特別委員)
須藤時一郎君	第一讀會ノ續(特別委員)
和田彦次郎君	第一讀會ノ續(特別委員)
前川楨造君	第一讀會ノ續(特別委員)
小金井權三郎君	第一讀會ノ續(特別委員)
栗原亮一君	第一讀會ノ續(特別委員)
小室重弘君	第一讀會ノ續(特別委員)
小畠岩次郎君	第一讀會ノ續(特別委員)
吉田正雄君	第一讀會ノ續(特別委員)
渡邊新太郎君	第一讀會ノ續(特別委員)
小林乾一郎君	第一讀會ノ續(特別委員)

(左) 質問書ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス)

本年二月十五日本員ヨリ提出セシ同月十一日朝鮮京城ノ事變ニ關スル質問  
ニ對シ政府ニ於テ未タ何等ノ答辯ナキハ如何ナル理由ナルヤ  
右成規ニ據リ提出候也

明治二十九年三月十一日

提出者 工藤行幹

外交及ヒ軍記ニ關スル質問

北清日々新聞ハ露清祕密條約ナルモノヲ記セリ一新聞ノ記事俄ニ信スヘカ  
ラサルカ如クナルモ馬關條約已後ニ於ケル一善鄰國ノ動靜清國償金ノ換濟  
膠洲灣ノ借用此間北清日々新聞ノ報告ヲ豫照スルニ足ルヘキモノノアリ政府  
ハ露清祕密條約ノ有無ヲ探査シタルヤ否ヤ又探査ノ結果ハ如何又此等ノ事  
實アリトセハ政府ハ之ニ對シテ何等ノ處置ヲ施セル乎  
軍紀ノ嚴整ヲ要スルハ更ニ言フヲ俟タス政府ハ帝國議會ニ於テスラ其設計  
ヲ公ニセス然ルニ外國ニ於ケル一新誌ハ疾ク之カ計畫ヲ報導シタリ我當局  
者中ヨリ祕密ヲ漏泄シタル者アルニ非サルヨリハ外國新聞ノ之ヲ知ル彼ノ  
如ク詳密ナル能ハス政府ハ如何ナル處分ヲ爲サントスル乎

明治二十九年三月十一日

提出者 高木正年

贊成者 尾崎雄

外二十九名

○議長(楠本正隆君) 諸君、茲ニ御紹介申スベキ事ガゴザイマス、熊本縣第  
二區補闕選舉ニ於テ當選致サレタル議員村上一郎君、本日ヨリ著席ニナリマ  
ス、御紹介申シマス

○議長(楠本正隆君) 是ヨリ會議ヲ開キマスル、質問ノ辯明ガアリマス  
ル、工藤行幹君

(工藤行幹君演壇ニ登ル)

○工藤行幹君(百十番) 諸君、私ノ提出シタ質問書ト云フモノハ、斯ウ云フ  
質問書ヲ提出シタノテゴザリマス、極簡單ナモノデゴザイマス、之ヲ一寸朗  
讀致シマス

本年二月十五日本員ヨリ提出セシ同月十一日朝鮮京城ノ事變ニ關スル質問  
ニ對シ政府ニ於テ未タ何等ノ答辯ナキハ如何ナル理由ナルヤ  
而シテ二月十五日本院ヨリ出シタ事ハドウデアルカト云ヘバ、諸君モ御存  
ジノ通、例ノ二月十一日ノ朝鮮ノ事變ニ就キマシテ、朝鮮大君主陛下ハ既ニ  
露國ノ公使館ニ連レラレテ行ク、是モ自ラ好ンデ行ッタノデハアリマスマ  
ト思ヒマス、擁セラレテ行ッタモノト見ルヨリ外ハナイ、又是マデ日本黨ト

稱セラレテ居ル大臣ノ二三人モ戮殺セラレテ居ル、其他趙義淵ノ如キ、豫テ

日本黨ト云ハレテ居ルモノ、首ヲ取ツテ出セト云フ布告モ出テ居ル、故ニ此  
趙義淵ハ我國へ逃ゲテ來テ居ルト云フコトニ爲シテ居ル、如何ニモ其始末ヲ  
見ルト、此宣戰ノ勅ノ御意タル、朝鮮ノ獨立ヲ保護スル所ノ精神ニハ大ニ反

對シテ居ル所ノ結果デアル、故ニ之ニ對シテハ、政府ハ何等ノ是カラ見込ヲ  
以テ宣戰ノ聖旨ヲ貫徹スルコトガ出來ルカ、此政府ノ意見ヲ聽キタイト云フ

コトヲ質問致シタノデゴザイマス、是ハ如何ニモ重大ナル事デゴザイマシ  
テ、諸君モ御存ジノ通、今更クドクハ申シマセヌケレドモ、畢竟此宣戰ノ詔

勅ト云フモノハ、朝鮮ヲ扶助スルト云フ所、朝鮮ノ獨立ヲ扶ケルト云フ所カ  
ラ基イテ、遂ニ此支那トノ大戰爭トナリ、四億万圓ノ入費ヲ費シ、數千人ノ  
人民ヲ殺シタノデゴザイマセウ、然ルニ其結果斯ノ如クナリ、却テ以前支那

ト相對シテ居ルヨリハ、日本ノ權力ハ朝鮮ニ於テ大ニ削減シタノ云フコトハ  
明ナル事實デゴザイマス、故ニ政府ハ是ニ對シテ如何ナル方針ヲ取ッテ宣戰ノ

聖旨ヲ奉戴スルカト云フコトヲ質問致シタノデアル、然ルニ爾來殆ド三十日  
程ニナルノニ、政府ハ何等ノ回答ヲ出サヌト云フコトハ如何ニモ不親切

不親切ドコロデナニ、政府ノ自ラ爲スベキ義務ヲ行ハナイモノト言ハナケレ  
バナリマセヌ、實ニ此朝鮮ノ變亂以來ハ、日本ノ人民ト云フモノハ、ドウ云フ

是カラ工合ニナルダラウ、折角是マデニ戰爭ヲシテ朝鮮ノ獨立ヲ扶ケル積  
マスカラ、政府ハ公然ナル議會ニ言フコトガ出來ナイナラバ、相當ナル手續

ヲ以テ、明ニ此議會ニ報道シテ貫ヒタイト云フコトヲ言フタノニ、爾來何モ  
ナイ、第一總理大臣ト云フモノハ此議場ニ見エタコトモナシ、又外務大臣モ

コトヲ質問シタノデアル、然ルニ若シヤ此事ハ外交ニ關係シテ居ル事デゴザ  
マスカラ、政府ハ公然ナル議會ニ言フコトガ出來ナイナラバ、相當ナル手續

ヲ以テ、明ニ此議會ニ報道シテ貫ヒタイト云フコトヲ言フタノニ、爾來何モ  
ヤラ、死ンデ居ルノダヤラ、無方針デ居ルノダヤラ、無神經デ居ルノダヤ

ラ、一向譯ガ分ラスト思ヒマス、而シテ其爾來新聞紙ハ報道スル所ニ據ル  
ト云フト、實ニ我國ノ人民ノ朝鮮ニ居リマシタ者ハ、是マデト違シテ一日

モ安心スルコトガ出來ナイノミナラズ、或ハ彼等ハ我兵隊ニ向ヒテ侮辱ヲ  
加フルガ如キ處置ヲ爲シテ居ルト云フ位ノモノデアル、是ヲ日本ノ兵隊ノ居

シタトキモ、繩ヲ附ケテ而シテ我兵隊ノ居ル處ノ前ヲ、故ラニ大道ヲ白晝ニ  
ヒッパリ回シテ歩イテ、著ル物ヲ皆奪ツテシマヒ、肉モ或ハ頬ノアタリ、或

ハ股ノアタリヲ嗜取ツテ居ルト云フ位ノモノデアル、是ヲ日本ノ兵隊ノ居

前ヲ、自晝ニ公然ト之ヲ引回シテ歩クト云フコトハ、彼等ノ野蠻風ハ免ニモ  
角ニモ、故ラニ日本ノ守備隊ノ居ル前ヲヒッパリ回シテ歩クト云フモノ

ハ、畢竟日本ノ兵ヲ侮辱スルガ如キ仕方デアルノデゴザイマス、否侮辱ス  
ニ相違ナイト思フノデゴザイマス、昨年支那ノ戰爭ニ勝ツタ時ノ如キハ、實

ニ朝鮮人ハ我日本人ニ對シテ、到ル處尊敬ノ意ヲ加ヘテアル、故ニ我日本ノ  
名譽モ揚リ、又此ニ居ル人民モ商業ト云ヒ、其他ノ事ハ万事萬端都合ガ好

クナツテ、爾來日本カラモ續々彼國ニ渡ツテ、或ハ行商ヲヤリ、或ハ店ヲ  
開キ、各其利ヲ營ンデ、一層是カラ朝鮮ノ國ニ對スル交易モ盛ニナリ、又

朝鮮國トノ親和モ一層深タナルト云フヤウナ場合ニナツテ居ルノデゴザイマス、然ルニ此十一日ノ事變以來、是ガ打ッテ變ッテ來テ、或ハ露國ノ兵杯ノ通ルトキハ、朝鮮人ガ極尊敬ノ意ヲ表シテ居ルケレドモ、我國ノ者ニ對シテハ實ニ傲慢無禮到ラザル處ナイヤウナ次第ニ爲シテ居ルト云フ、現ニ此京城アタリ、或ハ開城アタリニ居ル日本人ハ、逆モ居ルコトガ出來ナイデ、兵隊ニ護衛セラレテ、仁川又ハ釜山アタリニ引取ッタ云フコトデゴザイマスル、折角朝鮮國ト親和ヲ求メテ、我日本ノ勢力ハ朝鮮ニ伸ビ、又朝鮮國ト交際モ一層親密ニ爲シテ居ルノヲ、此十一日ノ事變以來、今ノ如キ次第ニ爲シテ、獨リ尊敬ノ意ヲ失フ——尊敬セラル、ノ意ヲ失フノミナラズ、却テ侮辱ヲ加ヘラレ、甚シキハ自ラ資產ヲ投シテ商業或ハ工業ニ從事シテ居ル者ハ、無類ノ損害ヲ來シテ居ルノデゴザイマスル、是等モ政府ハドウシテ之ヲ救ハントスルノデアルカ、ドウシテ之ヲ保護スルト云フモノデアルカ、一向見ナイ振り、聞カナイ振リヲシテ置クト云フコトハ、如何ニモ日本政府トシテ日本國民ヲ保護スルノ能力ナキ姿ニ爲シテ居ルノデゴザイマス、而シテ彼ノ釜山アタリニ居ル我國ノ人民ガ、或ハ今日ハ軍艦ガ來ナイカ、明日ハ軍艦ガ來ナイカト云フテ、頸ヲ延イテ待シテ居ルノニ、軍艦ト云フモノハ影モ形モ見エナイ、是ハ何ノタメデアルカ、決シテ吾ミノ信ズル所ハ日本ノ海軍ガ弱クシテ、支那ノ——露西亞ノ軍艦ノ在ル處ニ行クコトガ出來ナイト云フコトデハアルマイト思ヒマス、或ハ我日本政府ノ方針ガ確定シテ居ラナイカラ、殊更ニ軍艦ヲ彼地ニヤッテ萬一衝突スル事ガアシテハナラヌカラト云フテ、内々訓令ヲ下シテ、大ニ之ヲ引留メテアルト云フコトモ聞イテ居リマス、諸君、名程殺サレテ居ル、又前申シタ通、營業者、工業者ハ、其業ヲ營ムコトガ如何デゴザイマスカ、兵ヲ養フモ、軍艦ヲ備ヘルノモ、何ノタメデゴザイマセウ、此軍艦ノ如キハ外國ニ出テ居ル我人民ヲ保護スルニ最モ必要ナル事デアル、然ルニ朝鮮ニ於テ、我人民ガ既ニ新聞ノ報ズル所ニ據シテモ二十餘船ヲ出シテ之ヲ保護シナイト云フノハ、抑々何等ノタメデゴザイマセウ、何シテ營所ヲ張シテ居ルノデゴザイマス、然ルニ是モ遂ニソコニ居溜ラズシテ、是ヨリ半里モ離レテ居ル所ノ我居留地ノ近傍ニ引揚ゲタト云フコトデゴザイマス、是ハ何ノタメ引揚ゲタカ知リマセヌケレドモ、或ハ云フ、決シテ衛生上トカ其他ノ都合ノタメニ引揚ゲタノデハナクシテ、餘リ目立クタ處ニ居ルト云フト、他カラ種々ナ事ヲ挑マレテハナラヌ、是ヲ避ケルタメニ、我日本ノ居留地ノ近傍ニ引揚ゲタト云フコトデゴザイマス、諸君、如何デゴザイマセウ、守備隊ヲ他國ニ置イテ我人民ヲ保護シ、併セテ彼ノ朝鮮ノ孤弱ヲ救フテ獨立ニセシメンガタメニ、若干ノ費用ヲ出シテ此處ニヤッテ居ルモノヲ、今申シタ通緊要ノ地ニ居ラレズシテ、田舎ナル我居留地ノ近傍マデ引上ケル如キハ、何ンタルタメデゴザイマセウ、是モ決シテ私ハ我陸軍、即チ守

備隊ノ弱キタメデハナイ、畢竟政府ノ政略ノ立タヌ所カラ、政府ハ殊更ニ之ヲ避ケシムルノデハナイカト思フノデゴザイマス、否、思フ位ナコトデハナシテ、私一人ナラバ、政府ハ斷ジテ斯ノ如キ虛弱ナル處置ヲ取ッタモノダト私ハ言ハナケレバナラヌト思ヒマス、抑々政府ハ此戰後ノ經營トシテ、此議會ニ對シテドウ云フコトヲ求メテ居ル、又議會デヤナイ、我四千万ノ同胞ニ對シテ、吾々ハ之ヲ可決シテアルデハゴザリマセヌカ、之ヲ吾々ハ可決シテ、此ナラヌ、又陸軍モ増加セナクチャナラヌ、其他工業モ起シ、海外ニモ發達セシメナクテハナラヌト云フコトデ、或ハ烟草ノ稅トカ、或ハ酒ノ稅トカ、其外營業稅トカト云フモノヲ、未だ曾テ我國ニナイ如キノ巨額ノ要求ヲシテ、吾々ハ之ヲ可決シテアルデハゴザリマセヌカ、之ヲ吾々ハ可決シテ、此政府ノ求メニ應ズルト云フノハ、果シテ何ノ意デゴザリマスルカ、畢竟我人民ガ今遽ニ富裕ニ爲シタカラ、是ダケノ增稅ヲ出シテ宜イト云フ、譯デハナイ、偏ニ我國威ヲ宣揚シ、即チ昨年ノ宣戰ノ詔勅ノ御趣意ヲ奉體シテ我國威テ、吾々ハ之ヲ可決シテアルデハゴザリマセヌカ、之ヲ吾々ハ可決シテ、此セウ、然ルニ一方ニハ吾々四千万ノ人民、我代議士ガ斯ノ如キ增稅モ可決シ、斯ノ如キ多額ノ金モ負擔シテアルニモ拘ラズ、一方ニハ政府ノ處置ノ惡ルイタメニ、此軍ノ前ヨリ一層ヒトイ國威ニ對シテハ侮辱ヲ與ヘラレテ居ル、我人民ハ現ニ朝鮮ノ國ニ於テ殺サレテ居ル、ワレ等ノ事ニ對シテ何ニモセズニ居ルト云フノハ、如何ナル譯デゴザリマスカ、斯様ニ卑屈ナル事ヲスル譯ナラバ、何ガタメニ斯ノ如キ增稅ヲ要求スルコトガアリマセウカ、殆ド政府ノ爲ス所ガ私ハ無神經ト言ハシカ、無方針ト言ハシカ、虛弱ト言ハシカ、實ニ爲ス所ヲ知ラナイノデゴザイマス、然シテ近頃ニナリマシテモ、政府ハ頻ニ議會モ最早終結ノ期ニ近クナシタカラシテ、彼モ急イデヤレ、是モ急イデヤレト云フコトヲ此議院ニ求メルノハ、實ニ嚴酷ナル要求ヲ以テ求メテアル、或ハ河川法案ノ如キ、七十條モアルノヲ二日カ四日ニヤランナラヌトカ、民法ノ如キモ早クヤラナケレバナラヌトカ、總テ增稅法案ノ如キモ、皆政府ハ極至急ヲ要シテ此議場ニ誇シテアルノデアル、吾々モ早ク戰後ノ經營ヲ爲ス所ガ私ハ無神經ト言ハシカ、無方針ト言ハシカ、虛弱ト言ハシカ、實ニシタイタメニ其求ニ應ジテアルガ、一方ニ向シテハ政府ハドウデゴザリマス、吾々ハ此立憲政體ニ能力ニ依リテ政府ニ求メテアル所ノ質問書、而モ目下緊急ノ事、我國ノ國威ニ關シ、我人民ノ安寧ニ關スル事ニ就イテ質問ヲ出スモノハ、三十日ノ久シキニ涉シテモ何等ノ回答——答辯ヲシナイト云フノハ、抑々如何ナル譯デゴザリマスカ、凡ソ立憲政體ノ今日ニナシテ、所謂政ス、吾々ハ此立憲政體ノ能力ニ依リテ政府ニ求メテアル所ノ質問書、而モ日本政府ノ求ムル所ハ人民モ成ルタケ之ニ満足ヲ與ヘテ遣リ、又人民ノ求ムル所ハ關係スル外交政略ノ事ニ就イテ質問スルノニ對シテハ、恬トシテ恥ル所ナラヌト云フコトハ、當然デアルノデゴザリマセウ、然ルニ一方ハ議會ニ求ムルコト甚ダ嚴酷ニシテ、自分ノ爲ス所自分ノ職掌タル、最モ我國ノ榮辱ニシテ果シテソレダケノ、此議場ニ對シテ答辯スル位ナ事ガナイ譯ナラバ、セウカ、實ニ私が奇々怪々ト言ハザルヲ得ナイデゴザイマス、愈々伊藤内閣

會ニ對シテ答辯ヲスルト云フコトハ當然ナ事デハゴザイマセヌカ、吾ミハ政府ノ外交ノ事ニ就イテ質問書ヲ出セバ、是ニ答ヘナケレバナラスト云フコトハ、我憲法政治ノ定ム所デ、我天皇陛下カラ吾ミニ賜シテアル所ノ能力デアル、然ルニ其事ハ一向政府ハ顧ミナイ、斯ノ如クシテ伊藤總理大臣ガ議會ノ初ニ於テ上——議會ト政府ト能ク折合ッテ、是カラ國威ヲ宣揚シナケレバナラヌノ、國力ヲ發達セシメナケレバナラヌノト云フコトハ何事デゴザイマス、所謂一致ヲ圖リ、國運ヲ増進セシメントスレバ、自ラ務メル所ノモノハ飽クマデモ務メ、又人ニ求ムル所モ十分之ヲ求ムルト云フノハ當然デアルノニ、人ニ求ムル所ハ甚ダ酷薄ニシテ、自ラノ職務ニ至クテハ、此職務ヲ曠ウスルニモ拘ラズ、恬トシテ耻ル所ガナイ、質問ガアツテモ答ヘルコトヲセナイ、此議會ニモ足ヲ入レヌト云フヤウナコトデゴザリマス、斯ノ如クシテ我日本國ヲ維持スルコトハ出來ルデゴザリマセウカ、故ニ私が懸念デタマラヌト思フノデゴザリマス、故ニ私此質問書ヲ出スノデゴザリマス、願ハクハ今日ニモ、明日ニモ、總理大臣ハ自ラ此議場ニ御出席ニナクテ、明ニ此答辯アランコトヲ私ハ切ニ希望スルノデゴザリマス、若シ又此議場ニ答辯爲サル、ニ就イテ差支ノ事ガアルナラバ、相當ナル手續ヲ以テ、其相當ナル順序デ履行スレバ宜シイ、ドウシテモ之ニ答ヘラレヌト云フコトハナインデゴザリマス、若シ伊藤内閣ガ前申シタ通無能力ニシテ之ニ答ヘルコトが出來ヌケレバ、吾ミモ又一層進デ之ニ對シテ處置ヲシナクテハナラヌト思フ、然レドモ一應モ此答辯ヲ促サズシテ他ノ途ヲ取ルト云フコトハ、或ハ他政府ニ對シテ吾ミ議員ナルモノ、處置デハナイト思ヒマスルカラ、此再び質問書ヲ呈シテ、伊藤總理大臣ノ此答辯ヲ促スノデゴザリマス、此處ニハ政府ノ委員モ、此當局者ガ居ラヌヤウデゴザイマスガ、蔭デハゴザイマスガ、ドウシテモ政府ハ今日ニテモ、明日ニモ、速ニ出テ明ニ答辯ノアランコトヲ希望致シマスル、若シ答辯スルコトガ出來ナイナラバ、私ガ無能力デ、速モ此答ラスルコトガ出來マセヌト言フテ、低頭平身シタラ宜カラウト思フノデゴザリマスカラ、一應御話シテ置キマス

## ○議長(楠本正隆君)

高木正年君

(高木正年君演壇ニ登ル)

○高木正年君(百二十九番) 唯今工藤君ガ矢張外交ニ關シタ質問ガゴザイマシタ後デ申スノモ、少シ質問ノ演説ガ如何ニモクトイヤウニ御考デアルカモ知マセヌガ、私ノ今日致シマスル質問ハ、餘程我國將來ニ重キ關係ヲ持ツテ居ル事柄デゴザイマシテ國防ノ基礎ニモ其響ハ非常ナ變動ヲ來タシ、豫算ノ編制ニモ將來關係ノアル事デゴザイマスルカラ、暫クドウゾ御聽ヲ願ヒタイノデゴザイマス、先づ其質問書ノ要領ヲ讀ミマスガ、北清日日新聞ハ露清祕密條約ナルモノヲ記載セリ、新聞ノ記事俄ニ信スヘカラサルカ如クナルモ馬關條約已後ニ於ケル一善鄰國ノ動靜清國償金ノ換濟膠州灣ノ借用此間北清日日新聞ノ報告ヲ豫照スルニ足ルヘキモノアリ政府ハ清露祕密條約ノ有無ヲ探査シタルヤ否ヤ又探査ノ結果ハ如何又此等ノ事實アリトセハ政府ハ之ニ對シテ何等ノ處置ヲ施セル乎

今一ツハ次ノ質問デゴザイマス

軍紀ノ嚴肅ヲ要スルモノハ更ニ言フヲ俟タス政府ハ帝國議會ニ於テスラ設計ヲ公ニセス然ルニ外國ニ於ケル一新誌ハ疾ク之カ計畫ヲ報道シタリ我當局者中ヨリ祕密ヲ漏泄シタル者アルニ非サルヨリハ外國新聞ノ之ヲ知ル彼ノ如ク詳密ナル能ハス政府ハ如何ナル處分ヲナサントスルカ是ガ質問書ノ要領デゴザイマス、私ガ此露清條約ニ就イテ質問ヲ致ス前ニ、一體外交ノ事ハ、或ル事柄ノ起ツタ時ニ決シテ始マルモノデハゴザリマセヌ、カウト思ヒマス、如何ニモ露清條約ニ就イテ申シマスルト、或ル場合ニ於テハアルノデス、外交ノ上ニ就イテ各々國ミガ豫メ已ノ形勢ヲ作ルト云フコト甚ダ穩ナラヌガ如ク聽ク人ガアルカ知リマセヌノデゴザイマス、サリナガラ一體外交ノ事ハ、或ル事柄ノ起ツタ時ニ決シテ始マルモノデハゴザリマセヌ、外交上ノ手段ト云フモノハ、丁度兵士ノ演習ニ於ケル對抗運動ノ形ノモノデ争奪ニ於テ既ニ失敗シタナレバ、決シテ其以後ニ於ケル所謂實力ノ争ヒ、戰争杯ニ於テ既ニ勝利ガ出來得ルモノデハゴザイマセヌ、諺ニモ申ス如ク智ヲ以テ戰フト、力ヲ以テ戰フノガ、外交ノ動ト戰爭ノ動トノ區別ガアルノデゴザイマス、先ヅ甲ト乙、若クハ丙ト丁トノ國ガ形ヲ作ル時ニ於テ失敗シタラバ、其國ハ將來矢張優勢ヲ作ルコトガ出來ナイ次第ニ相成ルノデゴザイカ、露西亞ハ英國ニ談ジテ亘文島占領ヲ撤回セシメタガ、是ニ對シテ英國ハマス、是マデ外交上ニ現ハレタル經驗ヲ考ヘテ見テモ、即チ其形勢ヲ持ツテ居ルノデアル、彼ノ英國ガ朝鮮ニ於ケル一ノ小サイ島、彼ノ亘文島ヲ恰モ占領シタルガ如キ形ニナツタ時ニ、露國ハ是ニ對シテ如何ナル事ヲ以テシタカ、露西亞ハ英國ニ談ジテ亘文島占領ヲ撤回セシメタガ、是ニ對シテ英國ハノハ如何デアルカ、亘文島政略ハ、亘文島其物ハ占領セラレザルモ、外交上ノ保證ヲ爲シ得タノデゴザイマス、成ル程英國ノ外交ハ亘文島政略ニ於テハ失敗シタル形ガゴザイマスルガ、之ニ反シテ將來ニ露西亞ハ朝鮮ニ於ケル所ノ、決シテ或ル部分ノ占領ノ如キ事ヲ爲サナイト云フコトノ契約ヲ爲シタカ、露西亞ハ英國ニシテ亘文島占領ヲ撤回セシメタガ、是ニ對シテ英國ハノハ如何デアルカ、亘文島政略ハ、亘文島其物ハ占領セラレザルモ、外交上ニ於テ慥ニ英國ハ露西亞ヲシテ東洋ノ平和ヲ盟ハシメタト云フ所ノ一つノ形勢ヲ得タノデハゴザイマセヌカ、是等ハ即チ外交ニ於ケル形ヲ造ル上ノ手段デアツテ、此形ハ其外交ニ於ケル最大ノ手段デゴザイマス、北清日日新聞ノ記事ハ、斯ク申ス自分モ必シモ此事アリトハ信ズルノデハゴザイマセヌ、若シ此事微セバ實ニ吾ミハ幸福ナリト言ハネバナラストコトデゴザイマスルガ、此事ガアツタ後、吾ミガ揚言シテモ、演説シテモ一向效ノナイコトデアリマス、若シ此事ガアツタナラバ、此事ニ對スル所ノ處分ヲ政府ガ爲サネバナラヌ、此事微セバ、此事ノ起ラヌヤウニ今日ニ於テ豫防スルガ、即チ吾諸君ト共ニ熱心ニ注意シナケレバナラヌ、政府ヲシテナサセナケレバナラヌ事柄デゴザイマス、露清條約ハドウ云フコトヲ書イテ居ルカト云フト、隨分長イ文章デゴザイマスルガ、其中ノ極堅要ナルモノヲ拾シテ讀ンデ見マスルト云フト、露國ハ清國ノ沿岸ニ隨意ニ艦隊ヲ集駐スルコトヲ許シ、又ハ隨意ニ修繕ヲ爲シ、糧食ヲ積込ミ、石炭ヲ積ミ、水ヲ供給スルコトガ出來ルト云フノガ一ノ箇條デゴザリマス、又遠ク膠州灣ヲ其軍艦ノ集駐地ト爲スト云フコトモ、亦一ノ箇條ニナクテ居ルノデゴザイマス、其次ニハ殊ニ是等ノ便利ヲ得ルタメニ、支那ノ地方官ガ此祕密條約ヲ知ラナイタメニ、露國ガ不便ヲ感シテハナラヌカラ、若干ノ通譯官ヲ露國ノ軍艦ニ載セテ、地方廳ニ便宜

ヲ爲サシムルト云フノモ、一ノ箇條デゴザイマス、ソレカラ西伯利亞鐵道延長ニ對シテハ、瀋洲ニ接シタ地方ヲ露國ノ便宜ニ之ヲ貸シ與フルト云フモ、一ノ箇條デゴザイマス、最後ニ此様ニ肝要ナルコトガ書イテアルノデゴザイマス、朝鮮、露國及日本ガ衝突スル時ノ場合ニ於テハ、清國ガ露國ガ鳴綠江ノ道ヲ經テ、朝鮮ノ西境ヲ攻擊スル許諾ヲ露國ニ與フルト云フモ、テアリマス、是ハ唯今申シマスガ如ク、新聞記事ニアツテ、必シモ自分ガ之ヲ信ズルノデハゴザイマセヌ、サリナガラ今日東洋ニ起リツ、アル所ノ、吾ガ自擊シツ、アル所ノ露清間ノ舉動ト云フモノハ、稍々是等ノ事ヲ信ジ得ル跡ガアルヤウニ考ヘルノデゴザイマス、膠州灣ハ今日實際露國ガ軍艦ノ集駐地ト爲シテ居ルノデゴザイマセヌカ、日本ノ償金ニ對シテ露國ガ保證ヲヘタノハ、將來何ノタメニ來タルベキ所ノ結果ヲ期シ得ベキコトデゴザイマスルカ、鐵道敷設ノ便宜ヲ與フルト云フコトニ於テハ、昨一日天津發ノ電信ニ依テ見マスルト、李鴻章ハ瀋洲ヲ經過スル鐵道ニ就イテ露國ニ商議スル全權ヲ與ヘラレタト云フコトヲ今日ノ新聞ガ掲載致シテ居ルデハゴザリマセヌカ、斯ノ如キ新聞ノ記事ハ須ラク信ズベカラズトスルモ、其事實ハ吾ノ耳朶ヲ打チ來ルハ抑々何デゴザリマスルカ、遼東ノ還付ハ何故ニ三國ヲシテ干涉スルヨト爲サシメタカト言ヘバ、唯今申ス如ク一度日本ガ此地ヲ占領シテ、日本領トシテ數多ノ軍隊ヲ派出シ置イタナラバ、東洋ノ形勢ノ上ニ於テ日本ガ一大優勢ヲ持ソト云フコトガ彼レノ干涉シタ所以デハゴザリマセヌカ、彼ガ東洋ノ平和ニ害アリト揚言シタコトデハゴザリマセヌカ、然ルニ之ニ反シテ唯今朗讀シタリ若クハ私ノ説明シタル如ク、露國ガ東洋ニ於ケル優勢ヲ持ソト云フトキニ於テハ、東洋ノ平和ハ如何ニシテ保チ得ルデゴザリマセウカ、其間ニ於テ既ニ優勝劣敗ノ形跡ハ明ニ分リ來ルデハアリマセヌカ、明ニ現出シツ、アルデハゴザリマセヌカ、日本ノ外交官ハ如何、日本ノ政府ハ如何、此間殆ド知ラザルガ如キ形アルハ抑々何デアルカ、朝鮮問題ニ就イテハ屢々議員ノ質問スル所、政府ハ是ニ就イテ一言モ答辯ヲ與ヘナイト云フコトハ、工藤君ノ言ハル、マデモナキコトデゴザリマスル、吾々モ諸君ト共ニ此事ニ就イテ深ク政府ヲ責メバナラヌガ、今日ハ一朝鮮事件ノミナルハゴザリマセヌ、東洋ノ問題ハ最早朝鮮問題ノミニ限ルノデハゴザリマセヌ、支那ニ於ケル問題ハ即チ東洋ノ平和ニ關係スル最大問題デゴザリマスル、今一層進ンデ申セバ、今日東洋ニ起ル問題ハ多ク日本ノ獨立ノ權能ニ關スル最大ノ事柄デゴザイマスル、政府ガ若シ之ヲ緩慢ニ失シ、若クハ之ヲ知ラザル間ニ其形ヲ造ラシムル如キコトガアツタナラバ、吾々ハ如何ニ將來辛苦シテ國ノ經濟ヲ經營シテモ、殆ド國民ヲシテ塗炭ノ苦ニ陷ラシムル如キ負擔ヲ負ハセテモ、今日以後ノ經營ハ非常ナ困難ニ陥ラシメナケレバナリマセヌ、國ノ獨立ト云フモノハ將來ニ保チ得ラレヌコトデゴザリマスル、然ルニ政府ハ緩慢デアルカ何デアルカ、恰モ三國干涉ノ議ノ露國ニ起シタ時ニ於テ、其會議ヲ知ラザルガ如ク、馬耳東風ニ聞流シテ居ルト云フコトハ、吾々頗ル慨歎シナケレバナラヌコトデアルガ、獨り慨歎シテ已ムベキコトデハゴザリマセヌ、ドウシテモ是ニ就イテハ我政府ヲシテ十分ニ行フ所ヲ行ハシメナケレバナリマセヌ、ドウシテモ是ニ就イテ敏腕ヲ振ハシメナケレバナリマセヌガ、ドウシテモ此肝要ノ問題ニ就イテ吾

吾ヲ満足セシムル丈ノ答辯ヲ與ヘテ、然ル後再考セシムル途ヲ與ヘナケレバ  
ナラヌ、然ルニ之ヲ爲サニハ抑々何デアルカ、私ガ殊ニ大言シテ此問題ニ  
就イテノ答辯ヲ促ス所以デゴザリマスル、今一ツハ此軍機ノ祕密ニ關スル質  
問デゴザリマス

時ニ如何ナル舉動ヲシタノデアルカ、二國駐在ノ公使ハ少シモ其事ヲ知ラナカツタ云フコトハ外交官ノ職トシテ漏足ナリト云フヲ得ベキモノデゴザリマセウカ、日本ノ外交ノ振ハヌト云フコトハソレハ固ヨリ其人ニ在ルコトデゴザリマスガ、外交ガ振ハザルハ、早ク此祕密ノ漏ルト云フコトモ其一原因デアル思ヒマス、イツモ日本ノ失敗ハ、逃ゲルト云フコトヲ知ッテ居テ、來ル者ヲ逐フト云フ如キモノデアッテ、日本ノ弱イド云フコトヲ彼ニ知ラシテ、外交ノ上ニ於テ常ニ失敗ヲスルノデアリマス、此軍艦ノ祕密ノ漏レタ如キモ、恰モ日本ノ公使ガ三國干涉ヲ知ラザルガ如キ事柄デアッテ、總テ斯様ナ失敗ニ失敗ヲ重ネ、斯様ナ拙劣ナ手段ニ手段ヲ重ネテ、今日日本ノ光榮ト云フモノハ保ツコトガ出來ナイマデニ達シタノデゴザリマスル、是ハ誰ノ責デアル、即チ政府ノ責デゴザイマスル、是等ノ事ニ對シテハ、十分政府ハ満足ナル答辯ヲ與ヘテ吾ミヲシテ將來國ノ計畫ニ就イテ安心ヲセシムルヤウニセネバナラヌ、即チ是ガ質問ノ要領デゴザイマスル

○小室重弘君(八十八番) 高木君ニ確メテ置キマスガ、唯今ノ御演説ノ露清祕密條約ト云フヤウナコトハ、餘程重大ナ件デゴザイマシテ、高木君ノ唯今ノ御演説ノ如クデアリマスレバ、私共ハ高木君ノ御演説ニ依クテ大ニ利益ヲ得ルノデゴザリマスルガ、或ハ錦輝館デ政談演説デモヤルト云フ場合ニハ、一片ノ新聞紙ニ依クテ放言高論ヲ爲スガ宜シイ、併ナガラ言責ノアル此議場ノ演壇デ御述ニナルニハ、一片ノ新聞紙或ハ新聞紙ガ抜萃シタル一通の電報位デハ、餘り輕卒ナ事デアルト考ヘル、併シ高木君ハ左様ナ輕卒ナ事ハ爲サヌ御方デアルカラ、何カ新聞紙ガ例ヘバ李鴻章ガ鐵道ノ全權ヲ帶ビテ居ルトカ言フコトデ……定テアナタノ所ニモ電報ガ來タラウシ、又此事柄ニ就イテハ新聞ノ外ニ、責任ヲ負フテ御演説ニナル程ノ何カ確メ得ラル、コトガアラウト思ヒマスガ、アナタガ唯今御調査ニナッタ結果ガ、唯今御演説ノ通デアルカト云フコトヲ確メテ置キマス

○高木正年君(百二十九番) 小室君ニ御答致シマスガ、私ノ始ニ讀ミマシタ趣意書ト、私ノ演説ヲ御聽キニナリマシタ御分リニナリマセウ、私ハ此事ニ對シテノ虚實ヲ政府ニ問フノデゴザリマスルノデ、唯新聞ノ記事ノミデハ無論信用ガ出來ヌガ、其事實ノ上ニ於テ幾ラカ信用ガアルヤウニ思フト云フコトヲ唯今申上げマシタ、此事ガ實際デナケレバ吾ミハ實ニ帝國ノ萬歳ヲ唱ヘル譯デゴザリマスルガ、若シアツテハナラヌカラ政府ニ確メルト云フ、是ガ政府ニ質問ノ要項デゴザリマスル

○議長(楠本正隆君) 議事日程ノ第一、事業公債條例案第一讀會ノ續——委員長笑浦勝人君

## 第一 事業公債條例案(政府提出)

第一讀會ノ續(特別委員長報告)

○工藤行幹君(百十番) 願ハクハ政府委員カラドウカ……  
(政府委員大藏次官法學博士男爵田尻稻次郎君演壇ニ登ル)

○政府委員(男爵田尻稻次郎君) 唯今工藤君ノ御話デアリマスガ、是ハドウモ市場ノ景況ニ依リマスルカラ、事業ノ方ガドウシテモシナクンペナラヌト云フコトニ立至リマシテ、サウシテ其時ニ外ニ財源ガナクシテ是デヤラナクドウ云フ考デアルカト云フコトニナッテ其時ノ市場ノ景況ガドウシテモ、五分ナラバ、リ下ガル譯ナラバ是ハヤメント云フ意思デアルカ、御取調ニナッタコトがアレバ承リタイ、若シ又御取調ニナッテ居ラヌナラバ、政府委員カラ其事ヲ承リタイ

○箕浦勝人君(百四十二番) 調べテモ居リマスガ、政府委員ニ尋ねタラ尙ホ能ク分リマセウ、無論公債ヲ募ラナケレバ資本ガナイト云フ以上ハ、ドンナ苦シイコトヲシテモ募ラナケレバナラヌ、併ナガラ尙ホ其事ニ就イテ政府ガドウ云フ考デアルカト云フコトニナッテ其時ノ市場ノ景況ガドウシテモ、五分ナラバ、九十五圓若クハ九十七圓八圓デナクンバ募レヌト云フナラバ、致方ガアリマセヌカラ、矢張左様致スノデアリマス

○工藤行幹君(百十番) モウ一ツ立入ッタ御尋デゴザリマスルガ、昨年ノ軍事公債ノ如キデアルト、若シ此公債ヲ募ラナケレバ軍ヲ止メナクチャナラヌノデゴザリマスルカラ、幾ラ安クナッテモ市場ノ景況ニ依クテ九十五圓デモ募ルハ當リ前デアルガ、此便ヒ途ハ豫算ノ方デ極マツテ居リマスルケレドモ、必ズ市場ノ景況ニ依クテ幾ラ下ッテ來テモ是ハヤラナケレバナラヌト云フ程ノモノデモアルマイダラウカト思フカラ、政府ニ於テハ或ハ百圓ヨリ下ガル時ニハ、少シク其時期ヲ弛メテ百圓ヨリ以下ニナルヤウナコトナレバ募ラヌコトヲ承リタイ

○箕浦勝人君(百四十二番) 事業公債條例案ノ委員會ノ顛末ヲ御報告致シマス、此公債條例ニ依クテ財源ヲ得ル所ノ事業ハ、官設鐵道ノ改良、電話擴張、ソレカラ製鋼所設立、ソレニ軍備ノ擴張、葉煙草專賣ト云フヤウナ斯ウ云フヤウナ事業デアリマス、所デソレ等ノ事業ヲ起スベキカラザルカト云フモチ興廢ノ利害ハ、豫算案或ハ他ノ法律案デ之ヲ極メルガ適當デアッテ、

○政府委員(男爵田尻稻次郎君) ワレハ事業ノ方デアリマス、事業ノ方ガ運ンデ來テ、ドウシテモ募ラナクンバナラヌト云フ時ハ、已ムヲ得マセヌ、事業ノ緩急ヲ計シテ延スコトガ出來ルナラバ、市場ノ景況ニ依シテ増スコトガアリマスケレドモ、ドウモ公債ヲ募ルト云フコトハ、全ク受ケ身ノ仕事デアリマスカラ、事業ノ方ガ運ンデ來マシテ、ソレガ止メラレヌナラ致シ方ガナイノデアリマス

○吉本榮吉君(八十二番) モウ時日モゴザイマセヌシ、又斯ノ如キ公債抔ト云フテハ要スルコトガアレバ、是ハ已ムヲ得ヌモノデアリマスルカラ、別ニ議論ヲ要スル程ノコトモアリマスマイカラ、讀會ヲ省略シテ直チニ確定セラレシコトヲ希望致シマス

〔贊成タク〕「聲起ル」

○議長(楠本正隆君) 事業公債條例案ノ讀會ヲ省略シテ、決議シタイト申ス  
吉本榮吉君ノ動議ニハ、御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

事業公債條例案(政府提出)

○議長(楠本正隆君) 唯今ノ動議ニハ御異議ナシト認メマスル、就イテハ該案ノ決議ヲ採リマスル、該案ニ同意ノ諸君ハ起立 多數 起立者

○議長(楠本正隆君) 大多數、因テ該案ノ確定ヲ報シマス 確定議  
次ハ日程ノ第二、日本勸業銀行法案第一讀會ノ續——委員長石田貫之助君

第一 日本勸業銀行法案(政府提出)

第一 読會ノ續(特別委員長報告)

(石田貫之助君演壇ニ登ル)

○石田貫之助君(二百四十八番) 日本勸業銀行法案、農工銀行法案、農工銀行補助法案此三法案ニ就キマシテ、特別委員ノ審査ノ經過及結果ヲ御報道致シマス、此三法案ニ就キマシテ都合第十回ノ會議ヲ開キマシテゴザイマス、其時日ノ如キハ今茲ニ陳述スル必要モナイト考ヘマス、而シテ此修正ノ報告ヲ致シマスル前ニ、聊カ正誤ヲ致シテ置キマス、日本勸業銀行ノ第二十八條第二項ノ下ノ方デゴザイマス「内務大臣ニ郡市町村其ノ他」トアル下ヘ「法律ヲ以テ組織セル」ト云フ文字ガ脫シテ居リマス、ソレヨリ農工銀行ノ末ノ部モ、此事業ハ全國ヲ目的トシテ設立ヲ致ス銀行デゴザイマスルガ故ニ、從ツテ株式ニ於キマシテモ先づ全國ニ跨ルモノト致サナケレバナリマセヌ、然ルニ此他人ノ代理ヲ爲ス者ハ一人以上代理スルコトヲ得ズトアリマスルト、朱書ノ入テ居リマスルノガ、此銀行ハ最モ東京ニ設置ハ致シマスルケレドモ、此事業ハ全國ヲ目的トシテ設立ヲ致ス銀行デゴザイマスルガ故ニ、從ツテ總裁ガ臨時株主總會ヲ開クト云フコトニ外ナリマセヌ、ソレカラ第十三條ニ精神ニ於キマシテハ失當ト考ヘマスガ、サリナガラ少シ是ニ餘地ヲ置キマセヌト云フト、此總會ガ規則ニ照シテ見マスルト云フト開會が出來ナイ、所謂總會ガ成立タヌト云フ虞ガアリマセウ、斯ウ云フ考デ即チ五人以上代理スルコトハ出來ヌト範圍ヲ廣クシタニ外ナリマセヌ、而シテ此十分ノ二以上ヲ超過スルコトヲ得スハ説明ノ限りニアラズ、文字ニ現レテ居リマス通デアリマス、此十五條ニ法律ヲ以テ組織セルモノハ、是ハ以下本行及農工銀行ニ於キマシテモ、此文字ガ一般ニ斯様ナ所ニハ插入シテゴザイマス、其他法律ヲ以テ組織セルト云フコトハ、ドウモ此公共團體ト云フコトダケデハ或ハ疑ガ起ル、ドレマデノモノヲ指シテ公共團體ト云フコトガアリハセヌカ、其講究所ヲ法律ヲ以テ組織セルト、斯ウ確然記載シテ置キマスレバ疑問ヲ省ク、斯ルト云フニ過ギマセヌ、ソレカラ第三十六條ノ此二項デゴザイマス、主務大臣ノ認可ヲ受クベシトアリマスルノヲ、大藏大臣ノ認可ヲ受クベシト修正致シソレデ日本勸業銀行ノ第五條デゴザイマシテ、第四十八條コトガ修正ニナクテ居リマス、此趣意ハデス、政府提出案ノ精神ニ依リマスルト云フト、本行銀行ノ義務責任トモ總裁一人ニ歸シテアルデゴザイマス、ソレデ日本勸業銀行ノ第五條デゴザイマシテ、評議員五人ヲ挿入スルト云フコトガ修正ニナクテ居リマス、此趣意ハデス、政府提出案ノ精神ニ依リマスルト云フト、本行銀行ノ義務責任トモ總裁一人ニ歸シテアルデゴザイマス、ソレデ日本勸業銀行ノ第五條デゴザイマシテ、評議員五名ト云フモノヲ置キマシテノハ、該銀行ハ他ノ普通銀行ト達ヒマシテ決シテ機敏活潑ト云フコトガ主デハナクシテ、却テ此一事件タリトモ事ヲ輕々ニ取扱ハザルヤウ、最モ鄭重ニ最モ熟慮ノ上行務ヲ取扱

ハネバナラヌ本行ノ精神ナリト認メマス、ソレハ此法文ニゴザイマスル通り、大體五十箇年以内ト云フ長イ年賦ノ貸付金ヲ致シ、而シテ其貸付ヲ致スニモ事業ノ發達改良ト云フモノヲ目的トシテ、是ニ誤ラザルヤウ貸付ヲ致シ、其實ヲ舉ゲネバナラヌト云フコトデゴザイマス、決シテ今申ス他ノ銀行ノ如ク機敏ニ才利ヲ争フト云フヤウナ行務デハナイ、サレバ此一人ノ總裁ニシテ此修正文ノ通重役會議ニ出席シテ本行ノ重要事件ヲ議決スルト云フコトガ適當デアルト委員會ニ於テハ認メタノデゴザイマス、全體本案ニ就キマシテハ是ニ記載ガシテゴザイマシテ、御承知ノ通極修正ノ廉ハ少イノデ、又精神ノヒドウ動イタト云フヤウナ所ハゴザイマセヌ、唯今申シタ第五條カラ割出シテ評議員五名ト云フ多少重役ノ組織上ニ變更ヲ來シタノガ、一番修正ノ大ナルモノデゴザイマス、ソレデ此第七第二項等ニ評議員及トカラ云フ四文字ヲ挿入シテアリマスルノモ、今申シタ次第デゴザイマス、別段申上ゲマセヌ、第八條ノ總裁、副總裁及理事ハ在任中何等ノ名稱ニ拘ラズト云フ、此文字ハ餘リ狹隘ニ過ギルト云フ意味カラ以テ、之ヲ削除致シマシタ、在任中他ノ職務又ハ商業ニ從事スルコトヲ得ズト云フコトニ致シマス、政府案ノ但書ニ餘地ガ置イテアリマスルノモ、今申シタ次第デゴザイマス、別段申上ゲマ宣カラウト云フ斯ウ云フ考ニ外ナリマセヌ、第十條ハ重役會ノ議決ヲ經テ此總裁ガ臨時株主總會ヲ開クト云フコトニ外ナリマセヌ、ソレカラ第十三條ニ精神ニ於キマシテハ失當ト考ヘマスガ、サリナガラ少シ是ニ餘地ヲ置キマセヌト云フト、此總會ガ規則ニ照シテ見マスルト云フト開會が出來ナイ、所謂總會ガ成立タヌト云フ虞ガアリマセウ、斯ウ云フ考デ即チ五人以上代理スルコトハ出來ヌト範圍ヲ廣クシタニ外ナリマセヌ、而シテ此十分ノ二以上ヲ超過スルコトヲ得スハ説明ノ限りニアラズ、文字ニ現レテ居リマス通デアリマス、此十五條ニ法律ヲ以テ組織セルモノハ、是ハ以下本行及農工銀行ニ於キマシテモ、此文字ガ一般ニ斯様ナ所ニハ插入シテゴザイマス、其他法律ヲ以テ組織セルト云フコトハ、ドウモ此公共團體ト云フコトダケデハ或ハ疑ガ起ル、ドレマデノモノヲ指シテ公共團體ト云フコトガアリハセヌカ、其講究所ヲ法律ヲ以テ組織セルト、斯ウ確然記載シテ置キマスレバ疑問ヲ省ク、斯ルト云フニ過ギマセヌ、ソレカラ第三十六條ノ此二項デゴザイマス、主務大臣ノ認可ヲ受クベシトアリマスルノヲ、大藏大臣ノ認可ヲ受クベシト修正致シマシタ、是ハ本案及農工銀行共ニ主務大臣トアリマスルノヲ總テ大藏大臣ト書クヨリハ大藏大臣トシタ方ガ判明デ宜シ、日本銀行其他横濱正金銀行改メマシテゴザイマス、是ハ別段深イ意味モゴザイマセヌガ、之ヲ管理シウ云フニ過ギマセヌ、ソレカラ第三十六條ノ此二項デゴザイマス、主務大臣ノ認可ヲ受クベシトアリマスルノヲ、大藏大臣ノ認可ヲ受クベシト修正致シマシタ、是ハ本案及農工銀行共ニ主務大臣トアリマス、サレバ此所ニ主務大臣ト書クヨリハ大藏大臣トシタ方ガ判明デ宜シ、日本銀行其他横濱正金銀行改メマシテゴザイマス、是ハ別段深イ意味モゴザイマセヌガ、之ヲ管理シウ云フニ過ギマセヌ、ソレカラ第三十六條罰金ノ部デゴザイマス、二十圓以上二百圓以下ト

アリマスノヲ、百圓以上千圓以下ト改メタノデゴザイマス、是ハ此次ノ各項ニ掲ゲテ居リマスル所ノモノハ、隨分此銀行ニ於テハ重要ノ事柄ニアツテ、此一ツヲ誤リマスレバ決シテ其輕々之ヲ看過スベキ所ノ事柄デハナイト認メマス、故ニ先づ其程度ヲ百圓以上千圓以下ト云フ位ニ改メテ至當デアラウ、サリナガラ斯様ナ標準ヲ立テマスルノハ、千圓ガ至當カ或ハ一万圓ガ至當カ分リマセヌガ、種々他ニ斯様ナモノニ比較致シマシテ此二十圓以上二百圓ト云フノハ如何ニモ少額デアルト云フ感情ヲ起シマシタガ故ニ、百圓以上千圓以下ト改メタノデゴザイマス、ソレカラ五十七條ヲ二十圓以上二百圓以下トガウ直シマシタノデゴザイマス、是ハ原案テアツテ見マスルト、前ノ過料金ト云フノデ、前ノ過料金ハ違ツテ居リマスカラ此金額ヲ再ビ現ハシマシタ、第五十八條「即時抗告ヲ爲スコトヲ得」五十八條ノ末文デゴザイマス、是ハ十四日以内ト云フコトニ改メマシタ、少シ範圍ヲ規定シテ置キタイノデゴザイマス、先づ日本勸業銀行ノ修正ハ今申シマスヤウデ、續イテ此農工銀行法案第四條ヲ削除致シマシテゴザイマス、是ハ此附則ノ先刻申シマシタル第四十八條以下ト率連フ致シマスル事柄デアリマスル、何デ此四條ヲ削除ヲ附則ニ於テ設立委員ナルモノヲ府縣知事ノ指定スル所ニ任シタト云フ、斯ウ云フ意味ハ目下ノ情態ニ徴シマスルト云フト、本法ヲ發布致シマスレバ或ハ時ニ依リマシテ、或ハ場合ニ依リマシテハ大ニニ此設立ノ競争ヲ致サンカト存ズルノデアリマス、而シテ此銀行ハ他ノ普通私立銀行、普通營業會社トハ異ニ致シマシテ、政府モ十分ニ監督權ヲ有チ國家ハ是丈ケノ補助金ヲ與ヘテ以テ農工銀行ニ至リマシテハ一府縣下ノ之ヲ機關トスベキ所ノモノデアル、農工ノ改良發達ヲ計ルト云フ所謂公共的カラ出タ是ハ銀行デアル、ソレヲ設立ニ至ラテ種々ナ政治上ノ關係、或ハ實業デアレ、實業中ニ於キマシテモ農業者デアレ、工業者デアレ、商業者デアレ、種々ナ軋轢ガ起キマシテハ、其結果ハ其設立シタル銀行ハ甚ダ面白カラヌ結果ニナルト考ヘルノデゴザイマス、ソレデ是ハ寧ロ今申ス普通ノ會社、普通ノ銀行トハ違ヒマスルガ故ニ、此場合ニ於テハ特ニ此第四條ヲ削リマシテ、寧ロ此日本勸業銀行ノ例ニ倣ツテ附則ノ如ク設立委員ナルモノヲ於キマシテヤリマスレバ、其弊害ハ斷然絶ツテ仕舞ナイ、第二項ニハ記載シテアリマスル通リ變タコトハアリマセヌ、改正ノ第五項ニ其信用ノ確實ナルモノニ限リト云フコトモ是ハ文字ノ通デアリマス、第十九條ノ次ニ第二十條ト云フノガ新ニ挿入レテアル、是ハ第六條ノ第二項ヲ茲ニ改メテ挿入致シマシタ結果トシテ、是ハ記載致サンケレバナリマセヌ、其必要ガアルカラ是ニ挿入致シマシタ、第二十六條、第二十七條ノ年賦償還ト致シマシタノハ、別段は説明ハイリマセヌ、ソレカラ此所ニ四十七條以下ハ先刻申シマシタ通ノ趣意ニ外ナリマセヌ、ソレカラ此所ニ四十四日以内ニト云フコトガ、勸業銀行デ説明致シマシタ通デゴザイマス、補助法案ハ總テ原案ニ決シタノデゴザイマス、右報告ニ及ビマス〇吉本榮吉君(八十一番) 委員長ニ少シ質問致シマスガ、重役會議ハ第五條ノ名稱カラハ見エマスガ、ケレドモ重役會ノ組織ト云フモノハ第六條ニ見エ

○工藤行幹君(百十番) 一寸委員長ニ質問致シマスガ、此勸業銀行ノ第二章ノ各條、是ニハ其委員會ノ逐條審議ノ際ニハ、河島君ノ修正ガアツテ、斯様デナイト思フテ居リマシタガ、其後私ガ事故アツテ闕席シマシタ、ソレデ後トノコトハ知リマセヌカラスマガ、逐條ノ中ニハ河島君ノ修正説ニ決定シタヤウデゴザリマシタ、又農工銀行ノ方ノ第四條ノ削除説モ、逐條審議ノ際ハ立石君ノ削除説ガ少數デ倒レタヤウデアリマスガ、其後ドウ云フ譯テ復活ニナリマシタカ、ソレヲ伺ヒマス

○石田貫之助君(二百四十八番) 今ノ御尋ノ通デアリマス、逐條審議ノ際ハ其通デアリマシタガ、確定議ニ至リマシテ、此修正ノ通ニ確定致シタノデアリマス

○眞下珂十郎君(二百四十二番) 委員長ニ御尋致シマスガ、此勸業銀行ノ債券デゴザリマセウ

○佐々木正藏君(百十八番) 委員長ニ御尋致シマスガ、此農工銀行ノ第六條第二項ニ修正セラレタ「市町村又ハ法律ヲ以テ組織セル公共團體ニ對シ」ト云フ、此文面カラ見、且ツ其勸業銀行ノ方ノ第十五條ヨリ照合セテ見ルト、デゴザリマセウ

○石田貫之助君(二百四十八番) ソレハ當局者ニ御尋下サレタ方ガ明細ニ分リマセウト思ヒマス

○眞下珂十郎君(二百四十二番) 左様ナラ當局者カラ御答ヲ願ヒタイ

○佐々木正藏君(百十八番) 委員長ニ御尋致シマスガ、此農工銀行ノ第六條第二項ニ修正セラレタ「市町村又ハ法律ヲ以テ組織セル公共團體ニ對シ」ト云フ、此文面カラ見、且ツ其勸業銀行ノ方ノ第十五條ヨリ照合セテ見ルト、其區域ハ市町村以下ニ於テ、法律ヲ以テ組織セラレタル所ノ公共團體ト意味シテ居ルヤウニ考ヘラル、併ナガラ此明文上カラ言ヘバ「法律ヲ以テ組織セタル公共團體」トアル以上ハ、郡ト郡ト合シテ一ノ團體ヲ構ヘテ居ル、即チ數郡ヲ合シテ公共團體ガ出來テ居ル場合モ、無論適用シテ宜イト云フコトニナツテ居ルノデアリマスカ、果シテサウナルト、此勸業銀行ノ第十五條ノ區域ト、殆ド同一ノモノニナルト云フコトニナル譯デアリマスカラシテ、モノデ、其事業が廣大ナモノデアリマスルカラ、府、縣、郡カラ始メテ往キマスガ、是ハドウ云フ組織ニナルノデアリマスカ、其委シイ事ヲ承リタイ

○石田貫之助君(二百四十八番) 第六條ノ第二項ハ、今御尋ノ趣意ノ通デゴザイマス、勸業銀行デハ府、縣、郡トアリマスル、ソレデ是ハ機關ノ大ナルニ就イテ、縣ト縣ト合シテ公共團體ガ出來ルト云フコトニナレバ、是ニモ適用シテ宜イト云フ意味ヲ含ンデ居ルト云フコトニ解説シテ無論差支ナイト云フ譯デアリマスカ、御尋致シマス、果シテサウナルト、此勸業銀行ノ第十五條ノ區域ト、殆ド同一ノモノニナルト云フコトニナル譯デアリマスカラシテ、スル、農工銀行ニナツテ見マスルト、一地方ノ事デモアリ、事業が小ナルモ

ノデアルカラ、府縣郡ト云フノヲ省イテ、即チ市町村ト云フコトニ改メテ居ルノデアリマス

○佐々木正藏君(百十八番) ドウシテモ此文面デ言ヘバ、法律ヲ以テ組織セル公共團體ト書イタ以上ハ、矢張今申シタル如ク、縣ト縣トノ二縣ヲ合シテ公共團體トナルモノアルシ、又數郡ヲ合シテ一ノ公共團體トナツタモノモアルニ相違ナイ、申セバ郡或ハ縣ニモ、第二項ノ文字ハ適用スルモノトシカ

讀メナイ、ソレデ勸業銀行ノ第十五條ト同一ヨリモ寧ロ區域ガ大キクナルヤウニモ考ヘラレル、法律ニ書ク以上ハ、此明文通センケレバナラヌカ知レマセヌガ、今委員長ノ御説明ノ如クナレバ、甚ダ修正ノ意味ト文字ト大變齟齻スルヤウニ思ハレル、其邊ハ差支ナイト云フノデスカ

○石田貫之助君(二百四十八番) 左様、是ハ却テ勸業銀行ト此方ガ事業ガ廣大ニナルト云フコトハ決シテナイト思ヒマス、勸業銀行デアリマスルト、今申シマスルヤウニ縣、郡トアル、コチラハ府、縣、郡ト云フヤウニ、全體ニ係ッタモノハ、農工銀行ノ方ハ市、町、村ト限ツテアル位デアリマシテ、法律ヲ以テ組織セルト云フナラ、其法律ヲ以テ組織セルト云フ中ニハ、各府、縣、郡ニ跨ルト云フヤウナモノデアリマス、其精神ハ即チ市、町、村ト限ツタ位デアルカラ、左様ナ各府、縣、郡ニ跨ルテ、法律ヲ以テ組織セルト云フ仕事ハ、中央ノ勸業銀行ニサセル積テアリマス、農工銀行ノ方ニ於キマシテハ市、町、村ト云フノガ主デアリマスルカラ、法律ヲ以テ組織セル公共團體ハ市、町、村ト云フ小ナルモノニ貸與スルト云フ趣意デアリマス

○田口卯吉君(二百八十九番) 委員長ニ伺ヒタウゴザリマスガ、私ハ委員ノ一人デゴザイマシタガ、出席致シマセヌデゴサイマシタカラ伺ヒマス、此勸業銀行ノ第五條ノ評議員五人ト云フ修正ガアルヤウゴザイマス、此仕組ニ致シマスルト、日本勸業銀行ニハ總裁ニ副總裁、ソレカラ評議員ト云フ者ト理事ト、斯ウ云フ風ニナリマス、ソレデ此評議員五人ト云フ修正ニナリマシタ、其趣意ヲ一寸伺ヒタイト申シマスルモノハ、理事ト云フト先づ英語デじれくとるト云フヤウナモノニナカテ、或ハ取締役ト譯シタイ、詰リ株主ヨリ選舉致シテ取締役ニナルモノト思フ、其上ニ評議員ト云フ者ガ一ツゴザイマスルノハ、誠ニ意味ガ分ラナイ、理事ノ人數ヲ殖ヤシタノナラ分リマスガ、理事ト別ニ評議員ヲ五人殖ヤシタ趣意ガ分リマセヌ、ドウ云フ御趣意デ修正ニナリマシタカ、其處フ伺ヒタウゴザリマス

○石田貫之助君(二百四十八番) ソレハ先刻申シマシタ如ク、政府提出ノ法案ノ精神ニ依リマスルト、總裁ノ百般總裁ノ全權ニ委シテアルノデ、他ノ商法ノ規定ニ在ル所ノ諸會社ノ組織トハマルデ異ツテ居ル、理事ト云フ者ガアリマシタ所ガ、理事ハ重役ニハ相違ナイガ、此者ハ常務ニ關係スル者デアルカラ以テ、總テ總裁ノ命令ヲ受クベキ者デアル、而シテ評議員ハ總裁ノ命令ヲ受ケナイ者デアル、評議員ハ重役トシテ單ニ立法ニ關係スル者デアルカラ、重要ノ權デ、即チ債券ヲ發行スル手順トカ、又ハ貸付ト云フテモ、先刻モ申ス通、此銀行ハ真ニ事件ガ少イ、併シ其一事件トシテ重要ノコトデアルカラ、評議員列席デ決スル、重役ノミデ決スルコトニナルト弊ガ起ルカラ、

重役ト評議員ガ列席ノ上デ、或ハ專制ニ傾キ、或ハ情實ノタメニ、此銀行ヲシテ危殆ナラシメルト云フガ如キ弊害ヲ防グト云フ、斯ウ云フ 趣意ニ外ナリマセヌ

○谷澤龍藏君(百八十二番) 一寸委員長ニ御尋シタイ、且ツワレニ續イテ政府委員ニ御問ヲ致シタイ、ソレハ此第十五條ニアリマスガ、十五條ニ於テ此公共團體ト云フモノニ就イテハ、法律ヲ以テ組織スルト云フ文字ガゴザイマスガ、是ハ公共團體ノ中ニハ、法律ヲ以テ組織シナイモノモアルカラ、其中ニ疑ガ起ツテハナラナイト云フノデ、斯ウ云フ文字ヲ入レテアルノデアリマスガ、或ハ公共團體ト言ヘバ、必ズ法律ヲ以テ組織スルモノアルノニ、此文字ガナクテハナラヌカラ入レタト云フノデアルカ、其事ニ就イテハ、全體此アレバ貸付ヲスルト云フ趣意デアラウト思フノデアリマスガ、ソレデ法律ヲ勸業銀行ノ趣意ト云フモノハ、公共ノ事ニ關係スルモノニハ法律ヲ以テ組織シヤウト、法律ニアクシテ公共團體ト稱スペキモノニアツテモ、公共ノモノデアレバ貸付ヲスルト云フ趣意デアラウト思フノデアリマスガ、ソレデ法律ヲ以テ組織センケレバナラヌモノデアルカト云フコトヲ伺ツテ置キタイ、ソレカラ政府委員ニモ、法律ヲ以テ組織スルト云フ文字ヲ入レテ置クノハ、全體公共ノ團體ハ公共ノ事ニ對シテ盡スカラ、是ニ對シテ貸付ヲスルト云フノデアル、然ルニ之ヲ區別シテ、法律ヲ以テ組織シタルモノト、法律ヲ以テ組織シナイモノト云フ區別フシタナラバ、大イニ本案ノ本旨ニ背クコトニナリハセヌカ、但ハ之ヲ入レル方ガ完全デアルト云フ御考デアルカ、其邊ヲ兩方トモ一ツ伺ツテ置キタイ

○石田貫之助君(二百四十八番) 此條ハ公共團體ト云フモノハ、法律ヲ以テ組織シタルト、確ト極メテ置ク方ガ、銀行ノ上デ完全ヲ期スルト云フ積デアリマス、唯公共團體ト云フテ見マスルト、公共ト云フ文字ハ廣漠ノ文字デアリマスカラ、其區域ヲ斷定シテ置キマセント、銀行ガ取扱フ上ニハ混雜モ出来ヤウ、迷惑モ出來ヤウ、寧ロ法律ヲ以テ規定シタルモノトシテ置ク方ガ宜イト云フ趣意ニ外ナラヌノデアリマス

○中野武營君(二百三十四番) 一寸委員長ニ伺ヒタインデアリマスガ、此評議員五人ト云フ者ヲ加ヘラレマシテ、重要ノ事件ヲ評議サス、サウシテ重役ノ任ヲ帶ビサスト云フノデアルガ、ソコデ此罰則ノ處ニ至リマスルト、評議員ガ罰ニ逢フト云フコトハナインデゴザイマスガ、私ノ調べタ方ガ惡リノカ、ドウモ見當ラヌデスガ、シテ見ルト、評議員ハ重役會議ニ出テ決議ニ加テ居リマシテモ、如何ニ不都合ナコトガ起ツテモ評議員ダケハ罰ニ逢ハヌノデアリマスカ、サウスルト或ハ無責任ニナリハセヌカト疑ヒマスガ、此點ハ如何デアリマスカ

○石田貫之助君(二百四十八番) 無論加ルノデス

○中野武營君(二百三十四番) サウスルト、コニ五人ノ評議員ガアツテ、總裁、副總裁、理事ハ常務ヲ執ル、サウシテ其常務ノ結果トシテ、此規則ニ反對ノ處置ヲナシクトキハ罰ガアルノデアルガ、評議員ノ方ハ法官デ、常務ヲ執ラニカラ罰ヲ附セナインデアリマス

○石田貫之助君(二百四十八番) 無論加ルノデス

○中野武營君(二百三十四番) サウスレバ、評議員ハ其決議ノ數ニ加ルノデアリマスカ、加ラヌノデアリマスカ

○シタニ就イテハ、總裁、副總裁以下、皆此決議ヲ履行シ

ナケレバナラヌノニ、其根原ハ決議ニ基イテ居ル、サウスルト評議員ハ多數

デ決議ヲシテ置キナガラ、其事ヲ施行スル上ニ就イテハ、責任ヲ持タヌ、責任

ヲ持タヌ人ガ多數ヲ占メテ決議ヲシタト云フヤウナ結果ニナリハシナイカ、

評議員ガ五人ト、外ノ重役ガ一所ニナッテ、其評議員ノ意見ガ多數デ、他ノ

少數ノ人ハ此決議ニ從ツテ施行シナケレバナラヌノニ、其決議ヲ爲シタ人ハ

少モ與カラズシテ、唯常務ニ與カル人ノミガ罰ヲ受ケル、責任ノナイ者ガ多

數デ決シテ行ハナケレバナラヌ者ハ、其決議ニ從ハナケレバナラヌ、決議ニ

從ヘバ罰ニ逢フト云フコトニナリハセヌカ

○石田貫之助君(二百四十八番)此決議ト云フコトヲ單ニ申シマスルト、其

通ニ爲ルノデゴザイマス、サリナガラ罰則ノ各條ヲ見マスルト、是ハ事務ノ

施行上ノ事バカリデアル、今其決議ト云フモノハ、固ヨリ人ニハ誤ガナイト

ハ言ヘマセヌ、誤ガナイトハ申サレマセヌ、評議員ト云フ者ハ重役ト會議シ、

評議ヲスルト云フコトハ、此規則、此定款ニ基イテヤルコトデ、其罰則ハ總

テ施行上ニ就イテノ誤ガアル時デアル、即チ第六條ノ規則ニ反シテ貸付ヲナ

シタトカ、何トカ云フ時デアルノデ、ソレハ事務者ノ方デアリマシテ、評議

員ノ方ハ斯様ナ事務ニハ與ラヌノデスカラ、罰則ニハ與ラヌノデス

○重野謙次郎君(二百二十九番)私モ尙承リタイノハ、詰リ勸業銀行ハ一般

ノ商法ノ規定トハ別ニ取除デアルト云フコトデアリマスガ、併ナガラ此ニ書

イテアル事ハ、商法ノ一般規定ニハ從フベキモノト思フノデ、罰則ノ事ニ就イ

テハ、中野君ト同ジク私モ疑フ懷イテ居ルノデアリマスガ、第五條ニ於テ總

裁、副總裁各一人、理事、監査役各三人以上ト云フノデアリマスカラ、評議

員ノ方ハ五人デ、總裁、副總裁ト、理事ガ三人ト見テ五人、サウスルト評議

員ノ方が常ニ決議ニ勝ヲ占メルト云フコトニナル、監査役ハ商法ノ規定ニ依

レバ重役會議ニハ出ナイノデ、出ナイナレバ五人ト五人デ正半數デアッテ、

總裁ガ議長ニナレバ先ツ理事ガ一理事ガ多數ヲ占ムルコトニ爲ルト思ヒマ

ス、サウスルト矢張中野君ノ言ハレタ通ノ疑ガ起リマス、委員長ノ報告デハ常

務ヲ取扱フモノデアルカラト云フコトデアルガ、此罰則ニ掲ゲテアルコトヲ

見マスルト、成程常務ノ事モアルガ、先刻委員長ノ報告ニ依ツテ見マスル

ト、貸付其他債券等ヲ發スル重大ノコトハ、評議員會ニ掛ケルト云フコトデ

アル、サウスルト此五十六條ノ第五項ノ第三十四條ノ規程ニ反シ勸業債券ヲ

發行シタルトキ云々、是ハ成ル程規程ニ背クト云フコトハアルガ、其規程

ノ、規程ナラ規程ヲ極メルト云フコトガアレバ、矢張責

任ガ評議員ニ歸スルト思ヒマスガ、ソレニ就イテハトウデアルカ、ソレヲ

ソレカラ監査役ハ勿論這入ラヌノデセウ

○石田貫之助君(二百四十八番)左様デス、ソレカラ法律若クハ規則定款ニ

抵觸シタル——反スルコトヲ決議シタルト云フコトデアルガ、勿論責任ガア

リマス、ソレハ一般ノ法律ニ抵觸シタトカ、何トカ云フコトデアレバ、監査

役ハ之ニ當ル、直ニ責任ノ歸スル所ハ出來ルデアリマスガ、此罰則ハ要スル

ニ行務ヲ取扱フ上ニ於テ規程ヲ定メタ、其規程ニ反シタルト云フコトナシデス

○眞下珂十郎君(二百四十一番)政府委員ニ尋ねマスガ、中野君外一名ヨリ

質問ガアリマシタガ、評議員云々ノコトデアルガ、政府ノ意向ハ如何デアル

カト云フコトヲ、ソレカラ又先程一寸此農工銀行ノ債券ノ事ニ就イテ細カイ

モノハドウトカ云フコトガアリマシタガ、ソレモ……

〔政府委員大藏書記官添田壽一君演壇ニ登ル〕

○政府委員(添田壽一君)眞下君ニ御答ヲ致シマスガ、此評議員ノ事ハ委員

會ノ此修正デゴザイマスガ故ニ、政府ノ側カラ御答ヲスルノハ少シ其場所デ

ナイト考ヘマス、唯御答ヲ致シ得ル場所ハ、此原案ニ於キマシテ、所謂商法

上ノ責任ヲ有スルモノハ總裁ダケニ限ツテ居ルノデアリマス、又債券ノ金額

ヲ致シマスガ、此公共團體ト原案ニゴザイマスノハ、所謂是ハ法律上公共團

體ト認定サレテアルモノニ限ルノデゴザイマシテ、委員會ノ御修正ハ唯其意

ス、故ニ所謂十万圓以上ノ場合デゴザイマスガ、農工債券モ矢張五十萬圓ヲ

下ルコトヲ得ズト云フコトニ爲ルノデゴザイマス、序ニ谷澤君ノ御尋ニ御答

ノ事ニ就イテノ御尋デゴザイマスガ、御承知ノ通ニ債券條例ト別ニ申スモノ

ニ依レバ、其債券ノ金額ハ矢張商法ノ第百七十五條ノ規定ニ依ルトゴザイマ

ス、故ニ所謂十万圓以上ノ場合デゴザイマスガ、農工債券モ矢張五十萬圓ヲ

下ルコトヲ得ズト云フコトニ爲ルノデゴザイマス、何ガ故ニ法律上ノ

團體ニ限ラナケレバナラヌカト申シマスレバ、是等ノ團體ニ無抵當デ貸シマ

シタ場合ニ於テハ、此年賦償還貸付ト云フモノニ對シテ債券ヲ發行致シマス

カラ、其債券ノ確實ヲ保ツタメニハ、例ヘバ勸業銀行法ノ第二十八條ヲ御覽ニ

ナリマシテモ、若シ滯リヲ致シマスレバ、監督官廳ニ處分ヲ要求スルト云フ

團體ニ限ラナケレバナラヌカト申シマスレバ、是等ノ團體ニ無抵當デ貸シマ

シタ場合ニ於テモ入レテナインデゴザイマス

或國債ヲ起スカラ持ツテ居ル位ノモノニデナケレバ、債權ノ抵償ガ甚ダ薄弱ト

ナリマシテモ、若シ滯リヲ致シマスレバ、監督官廳ニ處分ヲ要求スルト云フ

團體ニ限ラナケレバナラヌカト申シマスレバ、是等ノ團體ニ無抵當デ貸シマ

シテモ法律ニ基イタルモノニデナケレバナラヌト云フ規定デアルノデアリマス

アルカ

○政府委員(添田壽一君)ソレハ廣意味ノ公共團體ハ幾ラモアリマセウケ

レトモ、此法律テ申シマスノハ今申上ゲマシタ如ク、第二十八條ニ明ニ監督官

廳ガ處分權ヲ持ツテ居ルト云フガ如キ事ガ明ニ書イテゴザイマスカラ、ドウ

シテモ法律ニ基イタルモノニデナケレバナラヌト云フ規定デアルノデアリマス

リマス——田口卯吉君

(田口卯吉君演壇ニ登ル)

○田口卯吉君(二百六十九番)諸君、本員ハ此度政府カラ出サレマシタ日本

勸業銀行、農工銀行、並ニ農工銀行補助法案、此三案共ニ總テ反對ノ意見ヲ

持ツテ居ルモノニデゴザイマス、ソレ故ニ私ノ考ヘテ居ル所ヲ諸君ニ述ベマシ

テ(此時議長田口卯吉君ニ注意ス)然ラバ、先ツ日本勸業銀行法案ニ就キマシ

テ、私ノ反對致シマス考フ述ベマスデゴザイマセウ、抑々此日本勸業銀行ニ

就キマシテハ、其性質中實ニ希望スベキ善キ目的ヲモ持ツテ居ルト同時ニ、

又大ニ害アル性質ヲ持ツテ居ルト云フコトハ、諸君モ御承知ノコト、思フ

ノデゴザイマス、先ツ私ノ第一ニ此點ニ就キマシテ、其有害ナリト云フ點ヲ

述ベテ見マスレバ、此勸業銀行ガ發行致シマスル所ノ勸業債券ト云フモノ

ハ、是ハ前會ニモ種々諸君ノ御疑問モアツタ承リマスルシ、委員會ニモ委

員中ヨリ御質問ノアタ點デゴザイマスル通、是ハ全ク富籤ノ性質ヲ持ッテ居ルモノト断定致シマスル、政府委員ハ此勸業債券ハ斯ル性質ヲ持ッテ居ルモノデナイト言ハレマスルガ、是ハ全ク富籤ノ性質ヲ持ッテ居ルガタメニ低利ノ資本ヲ集メルコトガ出来ルノデス、若シ尋常ノ債券ナラバ決シテ是ハ特典ト云フベキモノノデナイ、特典、デナク、テ即チ低利ノ資本ヲ集メルコトノ出來ルコトハ出来ルノデアル、如何ナル銀行ト雖モ、自分ノ資本ノ缺乏ノトキニハ其銀行ヘ至シテ債券ヲ發行スル、借用證文ヲ出シテ他ノ銀行カラ借リテ來ル、ソレニ向シテ相當ノ利子ヲ拂フ、是レ即チ債券ノ發行ノ權デアツテ、此債券ノ發行ニハデス、決シテ制限モナシ、自分ノ信用ノアル限り幾何デモ發行ノ出來ルモノノデナイ、銘々此債券ノ發行ノ權ハ持シテ居ル、唯此勸業銀行ノ發行スル所ノ債券ト云フモノハ、即チ尋常ノ債券ト違フ、性質ヲ持シテ居ルカラ、政府ヨリ特別ノ特許ヲ許ス、特許ヲ得ナケレバナラヌト云フコトニナシテ居ルデス、何故ニ是ガ特別ノ富ノ性質ヲ持シテ居ルカト云ヒマスレバ、即チ此勸業債券ノ條項ヲ御覽ナサイマスレバ、分カル如ク、此勸業債券ト云フモノハ割増ノ附イテ居リマスルノミナラズ、其債券ニ付スル所ノ利子ト云フモノモ制限ノナイモノノデアル、ソレ故ニ外國ニ於テ行レテ居リマスル所ノ例ニ依テ考ヘテ見マスレバ、此利子ト云フモノハ、世間尋常ノ利子ヨリハ必ず低クシテアル、故ニ此債券ヲ發行致シマスルトキニ例ヘテ言ヒマスレバ、今日世間普通ノ金利ガ五朱ナラバ、此債券ニ付スル所ノ利子ト云フモノハ、必ズ三朱トカ四朱トカ云フ利子ヲ付スルニ相違ナシ、而シテ之ヲ賣出ス所ノ相場ト云フモノハ從シテ六十圓トカ七十圓トカ云フ相場ニ爲ルト考ヘルデス、六十圓ナリ七十圓ノ相場ハ、諸君此債券ヲ發行シテ而シテ此鐵ニ當シタモノハ百圓ヲ受クルト云フノデアル、中ニハ割増金ヲ受クルモノガアル、斯ウ云フコレトニ爲リマスルカラ、許多ノ金持或ハ金ノナイモノト雖ドモ幾ラカ此債券ニ當シテ見タイト云フ投機心ヲ胸ニ蓄ヘテ、然ラバ此債券ヲ一々買ッテ見ヤウト云フ、或ハ得ラスモノモアリ、或ハ損ヲスルモノガアルト云フノハ、此債券發行ノ結果ニシテ必ズ起ルモノノデアルノデス……

○議長(楠本正隆君) 田口君、少シ……茲ニ演説モ長クナリマスルト認メマスカラ一寸報告ヲ致シテ置キマス、民法修正委員會ヲ開キマスニ依テ、決議ノ時ニハ議長ヨリ委員ニ出席ヲ通知スルト云フコトデゴザイマス

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(楠本正隆君) ソレマデ退席ノ請求ガ委員長ヨリアリマス、御承認ヲ請ヒマスル

（一）

纏ラナイ、唯今述ベマシタ如ク當タモノハ非常ニ利ヲ得ルゾ、六十圓デ以テ百圓ノ金ガ取レル、當レバ取レルゾト云フ如キ性質ヲ持シテ居リマスカラ、何月ヨリ何月マデノ間債券ヲ賣出スト云フコトニ爲リマスレバ、直チニ一億圓ノ金ガ寄ルト云フコトデアルデス、此事ハ即チソレ故ニ私ハ此勸業債券カト云フコトヲ十分ニ認メルコトガ出來マセヌ、併ナガラ英國ナリ、英國ノ如キモ寧ロ富ヲ以テ公債ヲ募リ、或ハまにら政府モ富ヲ以テ募ルヤウナコトヲ認メテ居リマスル、其時代ノ模様ハ能ク存ジマセヌガ、成ルベク經濟社會ノ混亂モナイコトヲ務メテ考ヘマスルト、右ノ如ク許多ノ金ヲ一舉シテ募リ上ゲテ、即チ其中當シタモノガ儲カルト云フ如キ性質ノモノハ、成ルベク行ハナイ方ガ宜カラウト思フデス、ソレカラ第二ニ更ニ一步ヲ讓リマシテ、右申シマシタ如キ、性質ノ債券ヲ發行シテ金ヲ募ル必要ガアル、他ニ有益ナル事業ヲ起ストカ云フタメニ、ドウシテモ金ヲ集メナケレバナラヌ、低利ノ金ヲ集メルノ必要デアル、社會ノ相場氣ノアルモノハ、努テ低利ノ金ヲ集メテ宜カラウト思フ、例ヘバ勸業銀行ニ就イテ申シマスレバ、大イナル港ヲ作サウシテ此有益ナル事業ヲ起サナケレバナラヌ、起スノガ國家ノタメニ必要デアルト云フコトニ譲リマシテモ宜シイ、斯ノ如キ事デアルナラバ、私ハ此権利ハ國家ガ持シテ居タイト思フノデアル、一私立會社ニ之ヲ許サレナイガシムルヨリハ、若シ必要ガアルナラバ、私ハ政府ガ自ラ斯ノ如キ債券ヲ發行シテ、公債證書ニ斯ノ如キ性質ヲ帶バシメテ、社會ヨリ此資金ヲ募シテ此事カラシテ金ヲ貸サシムルヨリハ、勸業銀行ヲシテ此債券ヲ發行シテ金ヲ募ラシク有スペキ特權デアル、一私立會社ニ與フベキ特權デナカラウト私ハ信ジテ居ル、今日ノ世ノ中ニ或ハ個人主義ト云フモノモアリ、或ハ社會主義ト云フモノモアル、又自由黨諸君ノ如キハ個人主義ヲ主張セラレテ居ルト云フコトデアル、個人ノ利ヲ圖ル或ハ社會ノ利ヲ圖ルト云フコトハ、場合ニ依シテハ一致スルコトガアル、共ニ平生ノ事ヲ行フ上ニ於テ一致スルコトガアル、ナゼナレバ個人ノ利益ニ屬スベキモノモ、社會ガ公共ニ利ヲ付ケレバ、即チ個人モ其利ヲ受クルノデアル、併ナガラ今此特許會社ニ向シテ其利ヲ得セシムルノ特典ヲ得タル御用商人トカ、或ハ政府其他此特典ヲ得タル者ニ向シテ、其利ヲ社會ニ屬セシムルト云フコトヲ相當トスル主義ガ何處ニ在リマスカ、個人主義ニモ、社會主義ニモ、國家主義ニモナイ、一ノ御用商人ヲ保護スルト云フモノハ、何處ヲ尋ネテモナインデス、如何ナル學問モ斯ノ如キ制度ヲ是トスルモノハナイ、因襲ノ久シキ行レテ居ル所デモ、如何ナル主義ニ對シテモコンナモノヲ是トスル所ハナイ、今我日本ニ於テ斯億圓ニスル、十倍即チ一億圓ノ勸業債券ヲ社會ニ募ルコトガ出来ルノデス、試ニ日本ノ社會ニ於テ一億圓ノ金ヲ募ルト云フノハ、中々尋常ニ募リ得ルモノデナシ、信用ノアルモノト雖モ信用アル會社ト雖ドモ、當リ前ノ債券ヲ發行シテ世間普通ノ利足デ金ヲ借りヤウトシテ、一億圓ノ金ガ一寸纏リマセウカ

話ト思フノデス、政府ハ是ヲ以テ戰後ノ財政ノ急務ト言ハレルノデアルガ、私ハ戰後ノ財政ニハ少モ關係ハナイ、斯ノ如キコトヲ何レノ時ニ行フトシタ所ガ、何レノ時ニ行シテモ宜シイ、必シモ今日ニ必要テナイ、況シテヤ今政府ガ新ニ一億圓ノ公債ヲ募ラウト云フ先キニ立ツテ、又此銀行ニ向シテ一億圓ノ債券ヲ發行スルノハ、源ヲ涸ス道理ト私ハ考ヘル、斯ノ如ク集メタル資本ヲ以テ起シマスレバ、ソレハ有益ノ資本ヲ起スト云フコトガ出來マセウ、ソレハ湊ヲ造ルコトモ出來、鐵道モ立テルコトモ出來、隨分有益ナ事業ヲ起スコトモ出來ル、併ナガラ其事業何ゾ必シモ勸業銀行ヲ必要トシマセウカ、日本銀行ニ貸サセテモ宜イ、或ハ政府ガ自ラヤツテモ宜イ、勸業銀行ニ託シテヤラセルト云フ必要ハナリ、サレバ勸業銀行ノ起サウトスル所ノ事業、即チ永遠ノ目的ヲ永遠ニ掛カラナケレバ爲セナイト云フ大事業ハ、勸業銀行ガナクテモ政府自ラ爲シテモ、或ハ今日ノ日本銀行ニ金ヲ貸サセテモ其他ノ方法ヲ以テ爲セテモ、而シテ彼ノ私ガ前ニ述べマシタ如ク、勸業銀行ト云フ如キ富ノ性質ヲ持テ居ル特權ヲ、今後此一私立會社ニ許スト云フニ至ツテハ、大イニ社會ニ害ノアルノミナラズ、殊更ニ今日此戰後ノ財政實ニ危急ナル時ニ當ツテ、日本ノ經濟社會ヲ擾亂スル實ニ危險千萬ナル法案ト私ハ信ズル、ソレ故ニ本員ハ此勸業銀行法案ニ向シテ反對ノ意思ヲ表シテ全廢ヲ希望致シマス、其他農工銀行其他ニ就キマシテモ、隨分反對ノ論ガゴザイマスルガ、ソレハ又別ニ論ジマス、終ニ臨ンデ一ツ論シテ置キマスル、此勸業銀行ノ又事業ノ上ニ就イテ見マスルト、一行ノ私立銀行、今後國立銀行ニ代テ起ル所ノ私立銀行ト競争スル性質ヲ十分持ツテ居ル、試ニ一億圓ノ債券ヲ集メルモノデ、資本ヲ集メルモノデ、一千万圓ノ資本ヲ以テ即チ一億一千萬圓ノ資本ヲ手ニ握ツテ居ルモノガ、ソレハ此法律デ色ニ規定シテゴザイマセウ、土地ニ貸サナケレバナラヌトカ、如何ナルモノニ貸サネバナラヌトカ云フ規定ハゴザリマセウ、併ナガラ之ヲ除ク方法ト云フモノハ幾ラモアル、此法律ヲ除ク、潛ダル方法ト云フモノハ、諸君少シク銀行ノ事情ニ通ゼラレタナレバ出來ルト云フコトハ分リマセウ、試ニ土地ニ貸サヌト云フ法律ヲ立テ、御覽ナサイ、土地ニ貸スガ、併ナガラ事實ハ商業ニ貸スト云フコトガ幾ラモ出來ル、試ニ三井ノ持ツテ居ル土地ヲ抵當ニシテ三井ニ貸シタラドウデアルカ、其抵當ハ土地デアルガ、其先キハ商業デアルト云フコトハ幾ラモ出來ル、然ラバ其勸業銀行モ今日起シテ居ル所ノ私立銀行ト競争スルモノニナシテ、縱令永遠ノ事業ヲ——前ニモ述べマシタ如ク害ガアル、況シテヤ其餘ノ私立銀行ト競争スル如キ結果ヲ生ジタナラバ、大害ヲ生ズルモノト考ヘマスルカラ、尙更此案ハ廢案ニ歸セント希望致シマス

○議長(楠本正隆君) 森林法案ノ委員會ヲ開クタメニ該委員長ヨリ退席ノ申出ガアリマス、又河川法委員會モ同様デゴザイマス、茲ニ御承認ヲ請ヒマスル〇議長(楠本正隆君) 承知致シマシタ——政府委員添田壽一君

(政府委員大藏書記官添田壽一君演壇ニ登ル)

○政府委員(添田壽一君) 唯今田口君カラ有力ナル御演說ガゴザイマシテ、

此案ノ生存ニ關係スルカモ知レマセヌカラ、一言申上ゲテ此必要ナル立法ヲ成ルベク速ニ議了セラル、コトヲ希望致スノデゴザリマス、田口君ノ御攻撃ノ主眼ハ、債券ノ發行其上ニ加ハル割増金ノ點デゴザリマスガ、是ハ成程御認メノ通大切ナ點デゴザイマスル、ト申シマシテハ此銀行ノ主眼ハ即チ低利ノ貸附ケデゴザイマシテ、其低利ノ貸付ケヲ爲ス時ハ、債券ノ利率ガ安クナケレバ目的ヲ達スルコトガ出來ナイノデゴザイマス、其債券ノ利率ヲ安メルタメニハ、ドウシテモ茲ニアリマスル所ノ割増金ト云フヤウナ方法ヲ用ヒナケレバナリマセヌカラ、此點ハ宜シク御研究ヲ煩シタイノデゴザイマス、田口君ノ御話ニ依リマスレバ、債券ト借用證文トハ同一デアルト云フヤウナコトデゴザイマスルケレドモ、マダ私ノ不東カナル所以カ左様ナル事ハ決シテアルマイコト、私ハ信ジテ居ルモノノデゴザイマスガ、免ニ角此割増金ハ決シテ富籤デハナイト云フコトヲ吳レ<sup>レ</sup>ニモ申上ゲマスルノデゴザイマス、ナセナレバ或ハ損ヲスルト云フコトガアル、或ハ元トノ耗ルト云フコトガアル、云フニ止リマスノデ、決シテ其元ヲ耗ルトカ所謂取扱ケ無盡ノ如ク、總テ洗ヒ渫ヒ失フト云フヤウナ事ハアリヤウガナイ、損ヲスルト云フコトハ此方法ニ於テハナインデゴザリマスル、ソレデ現ニ此方法ハ隨分外國ニ於テモ用ヒラレテ確實ナルモノト認メラレ、甚シキハ細民ノ如キ者マデモ此割増金付ノ債券ヲ引受ケタイト云フタメニ、貯蓄ヲ勉ムルト云フヤウナル有益ナル結果ヲ生ジテ居ル場合モ聞及シテ居リマスノデ、吳レ<sup>レ</sup>ニモ唯富デアルト云フ空漠ナル言葉ヲ以テ、此事ヲ取捨セラレザランコトヲ希望スルノデゴザイマスル、又俄ニ一億万圓ノ金ヲ募<sup>ツ</sup>テ我國ノ經濟ヲ擾亂セシムルト云フヤウナ御懸念デゴザイマシタケレドモ、此債券發行ハ事實土地抵當貨付ト云フガ如キコトガナケレバ發行ガ出來ナイノデゴザイマス、即チ土地抵當貨付ト云フ必要ガアッテ始テ發行スルノデゴザイマスカラ、唯空漠ト一億万圓ヲ市場ニ募ルト云フヤウナコトハ出來ナイコトデアル、既ニ土地抵當ニ基クナラバ即チソレハ生産上必要ナル債券ヲ發行ヲ必要トスルノデゴザリマシテ、爲ニ經濟ノ紊亂ヲ來スト云フヤウナコトハ決シテナイ仕組ニ爲シテ居ルノデゴザリマスル、我國ノ此經濟ノ發達ノタメニ、隨分此資金ト云フモノガ增加ヲ致シマシテ、例ヘバ必要ナル債券ヲ募リマシテモ、決シテ我國ノ今日ノ經濟デハソレガ困難デアルトカ云フ憂ハナイコトハ、現ニ田口君モ御承知ノ通ニ、少シ金融ガ緩慢ニ爲リマスレバ唯公債ト云フモノニ奔ル、或ハ已ムヲ得ズ不確定ナル債券若クハ株券ニ奔ルト云フ弊ガ今日實際アリノデアリマス、ソレ等ハ極不確實ナルモノ、上ニ注ガル、モノモ中ニハアリマスルケレドモ、此勸業債券ナリ農工債券ト云フモノハ、所謂生產事業ニ基イテ、確實ナル抵當ニ基イテ居ルモノデゴザリマスカラ、確實ナル資本ヲ投ズル途デ一番是ハ遊シテ居ル、使用ノ途ヲ探ガシテ居ル資本ニ向シテハ、有益ナル確定ナル場所ニアリマシテ、所謂市場ニ熾ナル投機ヲ防グタメニモ、却テ必要ト申サナケレバナラヌト信ズルノデゴザリマス、ソレカラ戰

此戰後ノ經營ト云フコトハ別問題デゴザリマスルガ、斯ノ如キ大經營ニ對シテ財源ヲ培養セズシテ、果シテ目的ヲ達シマセウヤ否ヤ、財源ヲ培養スルト云フノニハ、我國ノ如キ高イ利ノ金デ、短イ期限ノ金デ、農業、工業ノ改良發達ガドウシテ出來マセウカ、是ハ能ク諸君ガ御考へ爲サラナケレバナラヌ點デアリマス、詰リ今日ノ如ク長イ期限、安イ利ノ金ノ借り途ガナイト云フ間ハ、我國ノ殖產、工業ヲ如何ニ諸君ガ盡力セラレマシテモ、算盤デ出來ヌノデアリマス、算盤ガ立タヌノデアリマス、例ヘバ農家ノ利益ト云フモノガ五分デアル、然ルニ一割以上ノ金ヲ借ッテ改良發達ヲシロト云フコトハ、如何ニ御勸メナリマシテモ、ソレハ出來タ話デハナイノデアリマス、故ニ若シ戦後ト云フコトニ實力ノ培養、財源ノ涵養ト云フコトガ必要デアリマスルナラバ、殖產工業ト云フモノハドウシテモ勉メナケレバナリマセヌ、其殖產工業ノタメニドウシテモ必要デアルモノハ、低利デ長イ期限ノ年賦ノ金ヲ農業者、工業者ニ貸スト云フ機關ガナケレバナラヌノデアリマス、或ハ商業銀行ニ行ケバ宜イジャナイカト仰セラル、ガ、商業銀行デハ左様ナ事ハ出來マセスト云フコトハ、私ガ申スマデモゴザリマセヌ、或ハ又官立ニスレバ宜イト云フ御説モゴザリマスルケレドモ、政府ガ銀行事業ヲ營ムト云フヤウナ事ハ、今日ノ場合ニ於テハ果シテ是認ガ出來マセウヤ、私ハ已ノ修ムル所ノ學說ニ依テハ逆モサウ云フコトハ出來ナイト信ズル者デゴザリマス、又御用商人云々ト云フコトヲ仰セラレマスガ、此案ノタメニハ御用商人ハ困ルカモ知レマセヌ、是ハ詰リ細民ヲ保護シ、或ハ農業工業ヲ獎勵シ、大ニ我國ノ資金ヲ増殖シテ金利ヲ安メ大ニ此總テノ事業ニ必要ナル資本ヲ供給スルノ途ヲ開クノデゴザイマスカラ、利益ヲ壟斷セントスル人ノタメニハ、却テ是ハ有害カモ知リマセヌ、全ク田口君ノ言ハル、所トハ反對ノ目的ヲ持テ居ルノデゴザイマス、又終リニ私立銀行ト競争スルト云フコトヲ仰セラレマシタガ、少シ此銀行ノ性質ノ御研究ヲ田口君ニ煩シタインデアリマス、此銀行ハ所謂土地抵當ノ低利ノ年賦貸ヲ勉ムルモノデゴザリマスカラ、一般銀行トハ全ク其範圍ヲ殊ニシ、其勵ノ方法ヲ殊ニ致シテ居ルモノデゴザリマシテ、田口君ガ御調ニナレバ分リマスガ、今日一般ノ私立銀行ニ於テハ土地抵當ハ勉メテ避ケテ居ルノデアリマス、土地擔當ヲ避ケテ居ルノニ、此銀行ガ其避ケテ居ルモノヲ拾ッテ歩クト云フノニ、何デ競争ヲスルデゴザリマセウカ、何デ私立銀行ノ利益ヲ害スルノデゴザリマセウカ、私ガ實際各地方ノ銀行ヲ調べマシタ結果ニ於テハ、田口君ノ仰セラル、如キ事實デナイト認ムルノデゴザリマスルノミナラズ、此銀行ノ目的ハ即チ私立銀行トハ全ク其範圍ヲ殊ニシ、其勵ノ場所ヲ殊ニシ、方法ヲ殊ニサセテアリマスカラ、別段御懸念ナイコト、信ズルノデゴザリマス、甚ダ諸君ヲ勞シマスルケレドモ、此案ノ成敗ニ關スル大議論デゴザリマスカラ、一言申上ゲテ置キマス

(河島醇君演壇ニ登ル)  
○議長(楠本正隆君) 河島醇君  
(善々出來マシタト呼フ者アリ)

○河島醇君(百七十九番) 諸君、元來本員ハ勸業、農工兩銀行ノ設立ヲ希望シタ者デアル、我國農工業ノ進歩發達ヲ圖ルタメニ、農工業經濟ノ機關トシテスノ如キ銀行ヲ設立スルノ必要ヲ認メタモノデゴザイマス、即チ土地抵當

銀行ノ設立ヲ希望致シタ者デアル、ソレ故ニ今回政府ガ提出シタ所ノ兩銀行法案ノ大體ニ對シテハ贊成ヲ表スルノデアリマス、大體ニ對シテハ贊成ヲ表スルノデアル、我國商工業即チ一般ノ營業社會ニ向ッテハ、既ニ十數年ノ久シキ其機關ガ備ツテ居ルノデアル、所謂外ニ向ッテハ正金銀行ノ設ガアツテ、海外貿易ハ之ガタメニ其發達ヲ爲シ、又内ニ於テハ數多ノ國立銀行ト敷多ノ私立銀行ガアツテ、許多ノ國立銀行、許多ノ私立銀行ガアツテ、十分ニ營業者ノ運轉スル所ノ金融ノ流通ハ開ケテ居ルノデアル、殊ニ日本銀行ノ設立以來、是ガ中央機關トシテ、十分ニ是ガ金融ノ運轉ヲ補助致シマスルガ故ニ、商業機關ニ向ッテハ凡ソ吾々ガ満足ヲ表スルダケノ程度ニ及シテ居ルノデアル、然ルニ我國ハ古來農業ヲ以テ國ノ基本ト致シ、即チ經濟上ノ要具ト致シタ所ノ邦國デゴザイマスル、然ルニ是ニ對スル所ノ機關、即チ農業經濟ヲ進歩發達セシムル所ノ機關ハ、今日マデニ其設ケガナカッタ、即チ其設ケガ十分ナカッタノデアル、然ルニ此勸業銀行、農工銀行ノ設立ヲ見ルノ曉ニハ、此國家の大事業、我帝國農業經濟ノ進歩發達ヲ圖ルノ機關ヲ完カラシムルコトガ出來マスルガ故ニ、吾々ハ豫テ此不動産抵當銀行設立ノ利益ヲ認メテ居ツタノデアル、然ルニ前ニ申シタ如ク、商工業ノ機關ガ既ニ數十年ノ久シキ設立ヲ見ルモ尙ホ斯ノ如ク、我邦國ニ對シテ必要ナル所ノ、國家經濟的機關ナル所ノ農工銀行ノ設立ヲ見ルコト能ハナカッタ所以ノモノハ、果シテ何ノ理由デアツカ、何ニ起因シテ今日マデ其設立ヲ遲滯ナラシメタカト云フコトハ、即チ本員ガ大ニ疑フ置ク所ニアル、戰後ノ經營ハ我膨脹的國勢ニ對シテ其急ヲ要スルコトハ、固ヨリセネバナラヌコドデゴザイマス、然レドモ其戰後ノ經營問題ト云フモノハ、多ク消極的ノ事業ニ屬シテ居リマスルガ、此勸業、農工兩銀行法案ノ如キハ、固ヨリ戰後ノ經營ノタメニ政府ガ提出シタ所ノ法案デナイ、從來斯ノ如キ銀行ノ設立ハ日清戰爭ノ結果トシテ提出セラレタモノデハナクシテ、國家全般ノ上ニ必要ヲ認メタ所以ニアル、併ナガラ幾分カ今日ハ戰後ノ經營ニ屬シマスルガ故ニ、之ヲ經營問題ノ一トシテ見テモ、實ニ戰後ノ經營問題ノ唯一積極的問題デアルト云フコトヲ認メナケレバナラヌノデアル、即チ戰後ノ經營問題ノ中ニ於テ、積極的重大ノ問題デアルト云フコトヲ認メルニ躊躇セヌノデアル、然レドモ事ノ大要ニ於テ自ラ其利害ヲ生ズルト云フコトハ事理ニ於テ明ナコトデゴザイマスルガ、事ノ大ナルモノハ固ヨリ刻苦經營ノ勞ヲ積シテ而シテ其功ヲ收メナケレバナラヌノデアル、速ニ大功ヲ收メルコトヲ期セズトモ、是ニ對シテ刻苦經營ヲ積マニ以上ハ、到底其功ヲ全ウセヌト云フコトハ當リ前ノ事ニアル、此事ノ貴重ナルコトハ靜思熟慮、精細緻密ニ調查ヲ要シテ、而シテ始テ其利害得失ノ研究ト云フモノヲ十分ニ盡スコトガ能フノデアル、若シ是ニ時日ヲ假サズ、靜思熟慮、精細緻密ノ調査ヲ要セズシテ、違ニ其利害ヲ判斷シ、容易ニ斯ノ如キ重大ナ問題ニ對シテ著手ヲ爲ストキハ、其失敗ハ後來救フベカラザルニ至ラシムルノデアル、即チ戰後ノ經營、國家ノ大事業ヲ經營セント致シテ、是ニ對シテ十分ニ研究調査ヲ爲サリ結果、大ニ是ニ後害ヲ遺スト云フコトハ、事實ニ照シテ往々アルコトデアル、元來此勸業、農工兩銀行設立ノ目的至ラシムルノデアル、即チ戰後ノ經營、國家ノ大事業ヲ經營セント致シテ、

トカ云フコトハ、畢生一期ノ仕事デハゴザイマセヌ、即チ三十箇年ノ成功、五十箇年ノ成功ヲ期スト云フコトハ、決シテ人一世ノ仕事デハナイ、終身ノ事業デハゴザイマセヌ、ソレ故ニ此銀行ハ特ニ不動産ヲ抵當トシ、其不動產ノ收益上ヨリ之ヲ割出シテ、十分ニ價格ノアル、又十分ニ永遠收穫ノアル所ノ土地ヲ抵當トシ、其土地ニ對シテ永年賦償還ノ方法ヲ設ケテ、サウシテ此目的トスル所ノ農工業ノ進歩發達ヲ圖ラシメヤウト云フ所ノ方法デアル、而シテ其抵當トナルベキ所ノ土地ハ、後年ニ至ツテ甲乙輳轉賣買シ、若クハ其所有者ヲ交換スルコトガアツテモ、一度此契約ニ依テ此銀行ニ抵當ト爲タ所ノ債券(此時議長河島醇君ニ注意ス)私ハヤリマス——債券ハ決シテ銀行ニ對スル所ノ債務ヲ免ル、コトハナインデアル、初テノ債務者ハ其抵當ノ地面ヲ他ニ轉賣ヲ致シテモ、其地面ヲ買フタモノハ前債務者ノ義務ヲ引受ケテ往カナケレバナラヌノデアル、斯ノ如キ方法ナルガ故ニ、即チ此土地ヲ買フタ者ハ、其義務ハ前債務者ト同様ニ、銀行ニ向テ此土地ヨリ生ズル所ノ收穫ヲ以テ、即チ年賦償還ノ義務ヲ盡サナケレバナラヌノデアル、故ニ此拘ラズ必ズ契約上ニ於テ其保證人ト云フモノヲ要スルモノデアル、保證人ナクテハ誰モ金ヲ貸スモノハナイ、デ、所謂人ガ人ニ對シテ貸借ヲ爲ス所ハ其保證人ヲ要シ而シテ其期限ハ長クテ五年、若クハ十年ヲ最長月トスルモノデアル、決シテ三十箇年トカ、五十箇年トカ云フ長期ノ貸借ト云フモノハ、抵當ノ有無ニ日ノ時代、商業上ノ有様ニ於テ行ル、モノデハナイ、サウシテ人ニ對スル所ノ信用貸ハ五年十年——是ニモ相當ノ資格ヲ備ヘル所ノ保證人ト抵當ヲ要シテ、此土地ハ是ダケノ原價ノ生ズルモノデアル、是ダケ原價ガアル、是ニナケレバナラヌノデアル、然レドモ此土地抵當銀行ノ本業トルモノハ是ニ丈ノ實價ガアルガ故ニ、此不動產ニ就イテハ是ダケノ金額ヲ貸付ケテモ、少異カテ、即チ其土地ヨリ生ズル所ノ實收益ノ中、其公課額、平生納ムル所ノ金額ヲ差引イテ、其餘裕ノ收穫ヲ以テ其實價ヲ計算シ、而シテ其計算ノ結果ヲ十分ニ終ルコトガ出來得ルト云フ所ノ確定シタル所ノ目算ヲ立テナケレバナラヌ、ソレ故ニ此信用貸ト云フモノハ、絕對的ニ對物信用デアツテ、即チ物ニ對シテ貸付ヲ爲ス所ノ方法デアル、即チ前ニ述べタノハ本案即チ兩銀行ノ本業デアル、此本員等ハ兩銀行ノ特別審查會ニ於テ、勸業銀行其他ニ就イテ、十分ニ政府委員ニ質問致シマシタ、然ルニ此勸業銀行ノ對物信用、及對人信用ノ點ニ就イテハ、殊ニ本員ハ失禮カハ知ラナイケレドモ、恰モ教員ガ小學生徒ニ教授スルガ如ク、海外諸國ノ類例ヲ引イテ之ヲ尋ねタノデアル、然ルニ政府委員ハ是ニ如何ナ答ヲ爲シタカト問フテ見ルト、一向本員ノ問フタ所ノ間ニ對シテ答ヘ能ハナカツタノデアル、理由ガ曖昧デアツテ、是ハ第一抵當トスレバ善イトカ何トカ、是ハ我國ノ法デハナイ、我國ノ法ニ於テ輳轉賣買ハ出來マセヌトカ、一向分ラナイ所ノ答辯ヲシタノデアル、故ニ是ハ對

人信用デアルカト言ヘバ、全ク對人信用デアルトモ明言セズ、然ラバ對物信  
用デアルカト言ヘバ亦然リ、決シテ明言シナカツタノデアル、段々押合ッテ  
是ガ論究ヲ致シマシテモ尙ホ然リ數回ニ及シデ決シテ明答ヲシナカツタノデ  
アル、ソレ故ニ本員ハ五十箇年、三十箇年ト云フ長期ト云フモノハ、縱令保  
險會社デモ、サウ云フ長期ハ迂闊ニ約束ヲ爲スモノデナイカラ、斯ノ如キ銀  
行ガ一個人ニ向クテ契約ヲ爲ス道理ハナイ、併ナガラソレハ歐羅巴ハ知ラナ  
イ、他國ハ知ラヌガ、是ハ日本ノ習慣、日本ノ狀況ニ依クテ立テタ所ノ原案  
デアルト云フコトヲ、政府委員ガ之ニ答ヘタガ故ニ、或ハ大藏省ハ古イ所ノ  
書籍ヲ澤山貯藏シテアル故ニ、其古書ノ中ヨリ致シテ、或ハ浦島太郎ガ玉手  
匣ニモ抵當ニシタ類例デモ見出シタカト思ヒマシタ、併ナガラ其浦島太郎ト  
云フ人ハ長壽ナ事ハ話ニ聽イテ居ルケレドモ、彼ガ不動產ヲ持ツテ居ツタト  
カ、或ハ玉手匣ヲ抵當ニシタト云フコトハ、決シテ本員ガ聞カヌノデアル、  
而シテ政府委員ガ即チ本員ノ質問ニ答ヘテ曖昧ナル所ノ答辯ヲシタノハ、委  
員會ノ速記錄第三號ノ末、二月八日ノ速記錄ニ在ルノデアル、ソレカラ後ニ  
議會停會ノ後、彼ノ決議案ノタメニ議會ヲ停止セラレタ後、政府委員モ大ニ  
是ニ就イテ再三玩味シ、又研究調査ヲ要シタモノト見エテ、遂ニ本員ガ問フ  
如ク、明確ニ是ハ對物信用貸テ差支ハナイ、其土地ハ輾轉賣買シテモ妨ハナ  
イモノデアルト云フ答辯ヲシタノデアル、是ニ於テ本員ハ初テ對物信用ニ依ツ  
テ起草セラレタモノデアル、起草スペキモノデアル、其性質ノモノデアルト  
云フコトヲ確メタ故ニ、大ニ満足ヲ表シタノデアル、其最後ノ答辯ハイツデ  
アツタカト言ヘバ、即チ是ハ速記錄第四號ノ初二在ツテ、二月二十六日、即チ  
停會ガ十日アツテ、開會ノ翌日ノ委員會、二月二十六日ニ之ヲ答ヘタノデア  
ル、諸君、其事實ハ彼ノ速記錄ニ依クテ御參照ニナレバ明瞭デゴザイマ  
ス、而シテ勸業銀行ガ國家經濟的ノ機關トシテ占有セントスル所ノ特權、及  
其保護ノ特典ニ對シテハ、固ヨリ此銀行ハ公共的利益ヲ主トシテ、其目的タ  
ル所ノ農工業ノ進歩發達ヲ圖ルト云フコトヲ努メナクテハナラヌノデアル、  
其目的タル農工業ノ進歩發達ヲ圖ルト共ニ、又銀行一切ノ業務ノ整理ト云フ  
モノハ、其銀行ノ鞏固ト云フコトヲ圖ルト云フコトモ當リ前ノ事デアル、固  
ヨリ此銀行ハ前ニ申シタ如ク、國家機關トシテ最モ必要ナル所ノ銀行デアリ、  
最モ速ニ設立ヲ希望スベキモノデアル、殊ニ戰後經濟上最モ必要ナルモノ  
ナルガ故ニ、本員ハ之ニ大體贊成ヲ表スルト共ニ、此各項ニ就イテハ最モ  
諸君ト共ニ攻究シテ、諸君ト共ニ審議討論フ盡シ、十分ニ遺憾ナカラシムル  
ヤウニ、十分修正ヲ加ヘナクテハナラヌト思ヒマス、併ナガラ修正ノ意見ハ  
第二讀會ヲ以テ提出ノ積デゴザイマスルガ、是ニ於テ諸君ト共ニ是ガ審議ヲ  
盡サネバナラヌ所ノ點ハ何デアルカト言ヘバ、第一日本銀行ノ創立ノ際ニ  
ハ、彼ノ定款ニ於テ日本銀行ノ株主タラントスル者ハ日本人ニ限ル、外國人  
ハ許サナサイ、而シテ大藏大臣ノ許可ヲ受ケルト云フコトガアル、然ルニ此貴  
重ナル所ノ銀行、彼ノ特典且特權ヲ有スル所ノ銀行ニ對シテ、一モ外國人ニ  
セヌ、然ラバ外國人ガ株券ヲ所有スルコトガ出來ルヤ否ヤト言ツタ所ガ、是  
ハ普通ノ動産デアルカラシテ、外國人ニ勝手ニ所有が出來ル、然ラバ果シテ

株主ノ権利ガアルヤ否ヤト云フコトヲ問フタ所ガ、株主ノ権利ガアル、又海  
外各國杯ニ於テハ、殊ニ制限ガ加ヘテアッテ、斯ノ如キ銀行ノ役人杯バ外國  
人ヲ任命スルト云フコトハ禁シテアル所ノ例デアルガ、其銀行ノ役員ト爲ル  
所ノ資格如何ト云フコトヲ問フタ、ソレハ此銀行ノ役員ハ大藏大臣ガ任命ス  
ル人デアルカラ、外國人ナドヲ任命スルヤウナ不都合ハセナインテアラウ、  
是レ亦利害ハ措イテ、即チ斯ノ如キ貴重ナル所ノ権利ヲ外國人ニ許スト云フ  
點ハ、最モ吾ミノ攻究スベキ所ノ第一、ソレカラ此銀行ト云フモノハ、前ニ  
申シマシタ如ク、經濟的國家機關デアッテ、特典特權ト頗ル重イ所ノ保護ヲ  
受ケテ居ル所ノモノデアルガ故ニ、銀行ノ要具タル役人ノ組織ト云フモノ  
ト、其權限ト云フモノハ、最モ吾ミガ攻究ヲ要サナクテハナラナイ、既ニ本  
案ノ趣意ハ會社本體上ヨリ共同的ナラズシテ、總裁ト云フモノニ無上ノ權利  
ヲ與ヘ、所謂專制獨裁ノ組織ニナシテ居レ、普通商法上ノ如ク取締役ト云フ  
モノヲ置イテ、專務取締役ヲ置イテ其業務ヲ管轄スル所ノモノニ諸ラズシテ  
即チ會社ノ取締役ガ聯帶ニ責任ヲ持ツベキ所ノ權利ヲ、總裁一人ガ專制ノ權  
利ヲ持ツト云フ所ノ規定デアルノデアル、又斯ノ如キ銀行ハ外ニハ餘リ類  
モノヲ置イテ、專務取締役ヲ以テ今日ヲ論ズルコトハ出來ナイ、正  
例ヲ見ナイガ、我本邦ニ於テハ日本銀行ガ稍々斯ノ如キ組織デアル、併ナガラ  
其組織タルヤ斯ノ如ク、總裁ニ法律上ニ於テ專制ノ權利ヲ與ヘタモノデナイ、既ニ本  
モ、此銀行ノヤウニ法律ニ於テ特別ノ權利ヲ與ヘタルモノデハナイ、殊ニ正  
金銀行ノ如キハ海外ニ對シテ機敏ナ商業的動作ヲシナクテハナラヌガ故ニ、正  
アルガ故ニ、今ノ日本銀行ノ創立ノ時ヲ以テ今日ヲ論ズルコトハ出來ナイ、正  
或ハ其頭取ハ寸時ヲ爭ツテ——争フガタメニ或ハ責任ヲ以テ物ノ裁斷ヲ爲ス  
ト云フコトハ、義務上必要ナ事デアラウト思フ、併ナガラ此銀行ノ如キハ所  
謂人ニ對スルデハナシ、其抵當物ヲ十分ニ審査シテ其實價ヲ認メ、而シテ之  
ガ永遠其義務ヲ帶ビルニ足ルダケノ收益ノアルモノデアルヤ否ヤト云フコト  
ヲ審査シタ上貸付ケル方法デアッテ、其期限ハ三十箇年、五十箇年ト云フ所  
ノ長年賦貸付デアルガ故ニ、唯一時ノ商業的機敏ヲ争フガタメニ總裁ニ其  
專權ヲ委ネルト云フモノハ、此銀行ノ本質上頗ル疑ヲ措クベキ所デアル、故  
ニ此點ハ最モ吾ミガ此銀行ノ本體ニ對シテ攻究スベキ所ノ第二デアル、ソレ  
カラ又營業上ニ就イテモ五箇年ト云フモノハ長イ期限デアルガ、其期限ノ所  
ハ暫クヨ、デ措キマシテモ、第一營業上ノ上ニ就イテ此物權ニ對スル不動產  
抵當年賦貸付以外ニ普通ノ營業ガ許シテアルノデアル、即チ第四條ノ二項  
ノ如キ、是ハ普通ノ營業デアル、又三十二條ニ於テモ、幾分カ之ニ餘剩金ノ  
アルトキハ、他ノ公債ヲ買フ、茲ニハ他ニ預ケ金ヲ爲ス所ノ途ハ開イテアル  
ノデアル、少々ノ是ニ活用ヲ爲サシムルト云フノハ固ヨリ必要デアラウト思  
フケレドモ、斯ノ如キ特種ノ銀行ニ向クテ特ニ十四條見タヤウナ規定ヲ置イ  
テ、普通ノ營業ヲ爲サシムルト云フコトハ、此特別——本行ニ對シ特別保護ヲ  
與ヘタ所ノ精神ニ於テ甚ダ如何デアルカ、又十六條、十七條、十八條杯ニ於テ  
ハ、十分ニ考案ヲ費シテ大ニ之ニ對シテ修正ヲ加ヘルカ、十分ニ之ガ活用ヲ  
爲スコトヲ努メナイデハ、到底五十箇年賦ト云フ所ノ長期ノ貸付ニ對スル方  
法上ニ於テ、最モ其道理ノ明ナラズシテ且ツ又不確實ナ事ガ、是ニハアルト

不完全ナタメニ失敗致シタナラバ、國中ニ害ヲ及スコトハ如何デアルカ、全國ノ農工業ハ之ガタメニ悉ク倒産スルニ至ルデアラウ、即チ皆失敗ヲスルデアラウト思フ、デ、斯ノ如ク利益ノ大ナルト共ニ其及ブ所ノ公害ト云フモノハ最モ甚シイガ故ニ、吾々ハ前ニ述ベタ箇條ニ於テ、最モ審議討論ヲ盡サナケレバナラヌノデアリマス、嘗テ本案ノ提出セラレマシタ時ニ臨ンデ大藏大臣渡邊國武君ハ述ベテ曰ク、政府ハ此計畫ヲ爲スト云フコトハ既ニ十數年デアッテ内ニ向ッテハ中央銀行ノ——日本銀行ノ創立ヲ要シ、又貯蓄銀行ヲ設ケテ、大ニ貯蓄ノ法ヲ設ケ、而シテ此勸業、農工兩銀行ヲ設立ヲシテ大ニ殖産工業ノ發達ヲ爲シタノデアル、故ニ今期ニ向ッテ完成シタカラ之ヲ提出スル所以デアルト言ハレタ、本員モ當局者ニ於テ十數年此案ノ調査ニ著手セラレタト云フコトハ聞イテ居ル、而シテ其調査ノ原理ハ何レノ方法ニ依ラレタクト云ヘバ、佛蘭西ノくれぢほんにて獨逸ノれんでんばんくニ依ッテ起草シタモノデアルト云フコトヲ聞イテ居ル、ソレ故ニ十數年ノ間或ハ大臣ノ交迭モアリ、或ハ主任者ノ交換ト爲リ、變轉ヲ致シタ法案デゴザイマス、今日提出ニ爲ルマデノ間ト云フモノハ數十回、數十遍ノ調査攻究ヲ要セラレタモノト思ロマス、併ナガラ本員ガ委員會ニ於テ政府委員ニ問フタ所ノ有様ヲ以テ見レバ、政府委員ハ此事情ヲ顧ミズシテ唯紙ノ上ト紙ノ上トノ比較ヲ以テ之ヲ修正シタニ違ヒナイ、紙ノ比較デアルガ故ニ、事實ニ於テ行レ難イ所ガ澤山アル、十數年ノ久シキ計畫シタ法案ガ唯紙ト紙ノ競争デアタト云フ結果ニナックタノデアル、抑々病ニ向ッテ藥ト云フモノハ極必要ナモノデアルケレドモ之ヲ健康ナ人ニ用ユレバ必ズ害ニナル、藥ハ病ニ利クモノデアルト同時ニ、即チ勸業農工ヲシテ十分ニ此銀行ニ依フテ進歩セシムル、即チ農工經濟ノ一般ノ發達ヲ圖ル機關ニ違ヒナイ、併ナガラ此法案ニシテ若シ其程度ヲ誤リ其分量ヲ誤ツタキハ大ニ害ヲ與ヘルト云フコトヲ聞ク、果シテ斯ノ如ク此銀行モ實ニ國家ヲ救ヒ國家ノ農工經濟ヲ發達セシムル所ノ機關ニ違ヒナイ、希望シタル後患ヲ受クルニ相違ナイ、即チ大失敗ヲ受クルト云フ結果ニナルニ違ヒナイ、即チ政府ガ十餘年來調查ヲ費シタ法案ガ、斯ノ如ク不完全ナルガ故ニ、吾々ハ數日ニ於テ直チニ之ヲ調査スルト云フコトハ甚ダ難イコトデアル、前ニ述べタルガ如ク、不完全デアルガ故ニ、願ハクハ諸君——之ニ熱心ナル諸君ハ十分ニ完全ナル修止ヲナシテ、本案ノ通過ヲ希望スルノデアル、吾々ハ代議士ノ職掌國家百年ノ大計ヲ圖ルガタメニ、斯ノ如ク粗漏ナル案ヲ以テ輕々ニ通過セシメザランコトヲ、諸君ニ向ッテ希望スルノデアリマス

〔討論終結〕ト呼フ者アリ「賛成々々」ト呼フ者アリ

○恒松隆慶君(五十番) 討論終結ハ問題ニ爲リマセヌカ

○議長(楠本正隆君) 大切ナ問題デアリマスルニ依ッテ、議席ニ注意ヲ要シ

○田口卯吉君(二百六十九番) 一寸一言致シマス、先刻政府委員ヨリ私ノ演説ニ對シテ駁論ノアリマシタ中ニ、農工銀行ノ事ヲ述ベラレタ點ガ多クアリマシタ、併ナガラ本員ガ演説中農工銀行ノ事ニ及ブコトヲ得マセヌデシタカラ、ソレハ農工銀行ノ事ニ就イテ反対致シマスル時分ニ述ベル積デアリマス、

一言此事ヲ申シテ置キマス  
○岡村貢君(百十七番) 此問題ハ重大ノ問題デ大賛成ヲ致シマス、速ニ採決アランコトヲ希望致シマス(笑聲起ル)  
○議長(楠本正隆君) 是ヨリ該案ニ對スル一讀會ヲ開ク如何ノ決議ヲ採リマス、該案ニ對シ一讀會ヲ開クニ同意ノ諸君ハ起立

起立者 多數

○議長(楠本正隆君) 大多數、因テ一讀會ヲ開クコトニ決シマシタ  
○東尾平太郎君(二百八番) 直チニ二讀會ヲ開カントヲ希望致シマス  
○吉本榮吉君(八十一番) 此議案ニ就イテハ河島君杯ハ餘程調査シナケレバナラヌト云ヒマスルケレドモ、此議案ノ議場ニ現レタノハ一月十六日デアリマシテ、現ニ六十日モ掛ケテ調査セラレタモノデアリマス、ソレデ河島君ノ言フ通荷調ベルト云フコトデアリマスト、最早時日モアリマセヌカラ、私ハ直チニ二讀會ヲ開カレンコトヲ希望致シマス

〔ノウ〕ト呼フ者アリ

○前川楨造君(二百四番) 唯今直チニ二讀會ヲ開クト云フ御説ガゴザリマシタガ、此案ニ就キマシテハ河島君モ意見ガアリ、其他澤山意見ヲ以テ居ル人がアルデアラウト思ヒマス、今此事ヲ議シテシマフト云フコトハ、甚ダ遺憾ナ

次第デアル、斯ノ如キ重大ナル問題ニ對シマシテハ成ルベク討論審議ヲ盡シマシテ、然ル上ニ決スルト云フコトニ致シタイ(賛成々々)ノ聲起ル)故ニ此案ハ定規ニ從<sup>シ</sup>テ本日ハ開カレナイヤウニ希望シマス

○議長(楠本正隆君) 是ハ二讀會ヲ開クコトニ就イテ大分猶豫ノ請求モアリマス、實ハ大問題デアリマスニ就<sup>シ</sup>テ、明日ニ至<sup>シ</sup>テ二讀會ヲ開キタイト考

ヘマス、議案ノ都合ニ依<sup>シ</sup>テサマデ一日ヲ争フ程ノ事モアルマイト思ヒマスカラ、其通ニ御承知ヲ願ヒマス

〔異議ナシ異議ナシ〕ト呼フ者アリ「其通り」ト呼フ者アリ

○議長(楠本正隆君) 次ハ日程ノ第三、農工銀行法案及第四、農工銀行補助法案ヲ併テ議題ニ供シマス、尤モ決議ハ各別ニ採リマス——田口卯吉君

### 第三 農工銀行法案(政府提出)

第四 農工銀行補助法案(政府提出)

第一讀會ノ續(特別委員長報告)

(田口卯吉君演壇ニ登ル)

○田口卯吉君(二百六十九番) 諸君、モウ議場ノ趨勢モ大概分<sup>ク</sup>テ居リマシ

カラ、私ハ(星章君)演説ハ長イデスカ、長ケレバ私共ハ委員會ノ方ニ<sup>シ</sup>ト述

フ)極ク簡単デス、トウモ誠ニ満場ノ諸君ハ賢明ナル諸君デアッテ、去年ノ銀行延期問題ニハ隨分賛成ヲ爲サレシ所ノ御方、サウシテ今年ハ同ジ問題同

ジ銀行ノ問題ハ、憐レ瀆シテシマフト云フヤウナ御方——ドウモ私共ハ議場ノ決議ハ神聖ナリト信シマスガ、勸業銀行ニ就イテノ諸君ノ御意見モ、昨年ノ延期論ト同ジヤウナ趣ヲ持<sup>シ</sup>テ居リハセヌカト恐レルノデアルデス(ソ

ナコトヲ言フナ)ト呼フ者アリ「簡単々々」ト呼フ者アリ農工銀行ニ對シテハ、私ハ先刻述ベマシタ意見ヨリハモウ少シ反對ノ熱ガ強イノデアル、ト申マスルモノハ、是ハ日本ノ經濟上ニ更ニ有害ナル結果ヲ生ズルデアラウト思<sup>シ</sup>テ居ル、即チ金融上ニ大害ヲ生ズルデアラウト思<sup>シ</sup>テ居ル、其譯ハ成程

政府ノ目的トシテ居リマスル所ノ土地ニ向ッテ、即チ地主ニ向ッテ、安イ利ノ金ヲ貸シタイト云フ精神ハ、ソレハ好イ精神ト言ハナケレバナラズ、慈善的ノ安イ金ヲ持ツテ來テ貸ス事ニハ誰モ異論ハナイ、併ナガラ普通ノ相場ニ對シテ一分安ク貸シタ、二分安ク貸シタ、ソレガタメニ事業ガ興ルト云フヤウナコトハ、少シク事業ノコトニ眼ヲ著ケテ居ル人ハ、ソレ程ニ利目ノナイコトデアルト云フコトハ分ツテ居ラウト思フ、一步安ク貸セバ二分安ク貸セバ事業ガ忽チニ興ラウ、其安イ金ニソレガタメニ眼ガクレテ事業ヲ興シタモノデアルナラバ、恐ラク失敗ヲスルト云フコトハ分ツテ居ル、私ノ最モ恐レル所ハ此銀行ガ府縣ニ起リマシタ時ニハ、今日ノ此府縣ノ私立銀行ト云フモノハ、非常ノ競争者ヲ之ニ依ツテ受ケルデアラウト云フコトデアル、此農工銀行ノ組織此原案ノ如キモノナレバ、恐ラクハ政府ガ目的トシタル所ノ其目的ハ決シテ達シ得ナイデアラウト思フ、何トナレバ若シ農工銀行即チ土地抵當銀行デアルナラバ、地方ノ地主ニ向ッテ今迄一割五分以上ノ金ヲ借りテ居ル地主ハ逆モ其收益ヲ以テ負債ヲ返スコトハ出來ヌカラ、之ニ信用ノ組合ヲ立テシメテ、年々一割五分ダケハ拂フガ、其五分ヲ以テ元金ニ入レルト云フヤウナ信用ノ組織ヲ立テ、年賦ヲ返済セシメルト云フ——サウ云フ目的トスルナラバ、斯ウ云フヤウナ組織デハ逆モ此目的ハ達シ得ヌコト、思フデス、試ニ原案ノ如キ精神ヲ以テ此銀行ヲ立テサセマシタナラバ、各府縣ニ於テハ二十万以上ノ資本ヲ以テ立ツノデアルデス、此銀行ガ三百万圓ノ債權ヲ發行スル銀行デアルデス、百万圓ノ資本ヲ以テ即チ百二十万圓ノ資本ヲ握ラテ居ル銀行ガ、唯今政府ガ目的トシテ居ルヤウナ小サナルヂミナル貸付ヲ爲ス銀行ニ爲ルデアリマセウカ、今日土地ニ向ッテ金利ノ高イト云フノハ、今マテ國立銀行條例ニ於テ土地ニ向ッテ金ヲ貸スヲ禁ジテ居ルガタメニ、土地ニ就イテノ金利ガ高イノデ、斯ノ如キ理由デ銀行ガ土地ニ貸ス利息ハ高イノデアルデス、土地ニ向ッテ金ノ利息ノ高イノハ、普通ノ營業ニ於テ魚屋トカ卵ヲ賣ル者ガ手數料トカ、或ハ其歩合ガ高クシテ、吳服段物杯ヲ賣ル者ノ歩合ガ安イノト同ジコトデアルデス、公債證書ニ向ッテハ安イ、土地ニ向ッテハ高イト云フノハ、詰リ危險デアルカラ流込ム土地ノ處分ニ困ルカラデアツテ、是ハ一般ノ有様デアルデス、其中デモ日本橋ナリ京橋ナリ、若クハ三府五港ノ如キ立派ナル土地ニ就イテハ、其土地ハ恰モ公債證書ト同ジデアル、公債證書ヨリハ寧ロ安ク貸シテモ危險デナイト云フ所ガ幾ラモアル、然ラバ土地抵當ダカラ此一般ノ——此農工銀行ガ土地ノ地主ヲ保護スル申シマシタ所ガ、前ニ申シマシタ如クニ三井ニ向ッテ土地抵當デ貸ストカ、三菱ニ向ッテ貸スト云フノハ、此目的トハ全ク反對デアル、各府縣ニ向ッテ百幾万ノ資本ヲ有シテ荷爲替ヲ爲シ、爲替割引ヲ爲シタ時ハ、日本ノ金融ノ本通り本道ト云フモハ、農工銀行ニ歸スルノデス、是マデ金融ノ道ト云フモノモ、恰モ府縣ニ國道ガアリ、縣道ガアルト同ジク、信用ノアル銀行ノ爲換ヲ通ツテ、其道ヲ通ツテ流レテ居ルノデス、ソレニ就イテ日本ノ金融ガ疏通シ此原案ニアル精神ハ、恐ラクハ矢張此銀行ト雖モスルノハイヤニ違ロナイ、

之ヲ立テタ所ノ銀行者ニナツテ、百万圓以上ノ資金ヲ握ツテ居テ、神奈川ナリ前橋ナリニ於テ其金ヲ握ツテ居テ、此土地抵當ニパカリニ此金ヲ動スコトガ出來マセウカ、其出來ナイコトハ分ツテ居ル、荷爲換ナリ爲換ナリニ手ヲ出スト云フコトハ分ツテ居ル、然ラバ此ノ如キモノヲシテ犯則ヲサセルノハ、實ニ望マナイコトデアル、又府縣ノ相場師ガ起ツテ此銀行ヲ立テルノハ、恰モ鐵道ヲ敷クノト同ジク、鐵道其他ヲ立テル如キ考ヲ以テ、株ノ騰貴ヲ見込シテ此銀行ヲ立テル、然ラバ此銀行ガ最モ鐵道會社ト同ジク、相場師ノ巢窟ニ爲ル、何ゾ政府ガ農民ニ向ッテ業ヲ進メヤウト云フガ如キ、ヂミナル方ハマダ穏デアルガ、然ルニ此方ノ特權ハ何デアル、富鐵ヲ一方デ發行スル銀行事務ニ甘ジテ居ル銀行ニ爲リマセウカ、政府ノ目的トハマルデ違ツタモノニナル、其極般鑑遠カラズ、前橋生絲改良會社ノヤウナモノニ爲ツテ、遂ニ破産ニ終ル、國立銀行ガ紙幣發行ノ特權ヲ得タトキハドウデアル、此特權ノ方ハマダ穏デアルガ、然ルニ此方ノ特權ハ何デアル、富鐵ヲ一方デ發行スルト同ジ事デアル、資本ガ足リナクナレバ、富鐵ヲ發行シテ金ヲ募ツテ實ニ穩デナイン、經濟上容易ナラズ仕事ヲシテ、而シテ金ヲ集メテ居ルノデゴザイマスカラ、此斯ノ如キモノ、銀行ノ取締役ナリ、頭取ナリニ爲ルト云フガ如キモノハ、創立ノ初ニ東京ニ出テ來テ、財產ヲ濫用シテ、新橋ナリ、柳橋ナリニ於テ、實ニ放蕩ヲ極メテ、ソレト同時ニ銀行モ傷ケテシマフ、ソレト同ジ歴史ヲ此銀行ガ繰返スノハ分ツテ居ル、御用商人トカ、或ハ其他少シ地方ニ於テ名譽職デモシテ居ツテ、府縣知事ニ御氣ニ入りノ者、或ハ政府ニ脈絡ヲ通ジテ居ル人ハ、早ク一番先キニ大藏省ニ駆付ケテ、此銀行ノ發起人ニナシテ、而シテ此特權ノ甘味ヲ占メテ、而シテ銀行ヨリマシタ日ニハ、日本ノ金融ニ大害ヲ生ズルノミナラズ、遂ニ破産ニ終ル、私ハ此豫言ハ決シテ達ハヌト云フコトヲ諸君ニ一言申シテ置キマス

○田中鳥雄君(百三十八番)一寸御尋シマスガ、田口君ノ御話ハ誠ニ御熱心ナルコトハ感服致シマスガ、目下此法案ガ出テ以來、地方ノ御狀況ヲ御承知アルヤ否ヤ、地方ニ於テハ實ニ此勸業銀行、農工銀行ノ法案ハ、先キノ大藏大臣ノ時分ニ調査シテ、日本銀行ト同時ニ、ドウカスウ云フモノノ政府デ以テ創立スルヤウニシテ、サウシテ農工銀行ノ第七條ニアル開墾、排水、其他ノ事業ト云フモノヲ、斯ウ云フ法案ガ出タラヤリタイト云フコトハ、非常ニ渴望シテ居ル、此法案ガマダ成立タナイトキニ、既ニ株主ヲ募集シテ、縣廳ニ願出タ縣モアルガ、其仕事ハアナタノ御述ニナル投機ヤ何カノ事ニ使フノデハナイ、斯ウ云フ實業ノ方ニ使フ事ガ多々アル、實ハ是ダケノ金デモ實業ノ發達ヲ助クルニ足リナイ位ト思ヒマス、其狀況ヲ御承知ニナツテ居ルヤ否ヤ

○田口卯吉君(二百六十九番)ソレハ十分知ツテ居ル、農工銀行ノヤル仕事ハ、私立銀行デ十分出來ルト本員ハ信ジテ居ル

○議長(楠本正隆君) 河島醇君  
(河島醇君演壇ニ登ル)

○河島醇君(百七十九番)諸君、本員ガ本案ニ贊成スルノハ、先キニ勸業銀行ニ贊成シタノト同様デアル、其贊成ノ點ト其必要ノ點ハ更ニ述べマセヌ、サリナガラ此銀行ノ利害得失ニ就イテ諸君ト共ニ審議スペキコトヲ攻究シナ

○河野廣中君(百五番) 議長——議長、斯ウ云フコトデアレバ異議ヲ言ヒマス、勸業銀行、農工銀行ト云フモノ……

(此時議長河島醇君ト問答ス)

○河野廣中君(百五番) 何ノ攻究ヲスルノカ分ラヌ……

○河島醇君(百七十九番) 利害ノアル所ヲ大イニ攻究スルノデアル

○河野廣中君(百五番) 議長、サウ云フコトガ出來マスカ、サウ云フコトヲ

ノ體面ヲ缺クト云フコトハ、私共決シテ忍バレヌ所デアル、贊成ナラ贊成、反對ナラ反對ト、成規ニ依ツテ議論ニナルガ宜シトイ思フ……

○議長(楠本正隆君) 贊成ヲ御述ニナル豫定テ……

○河島醇君(百七十九番) 此點ハドウデアルカト云フコトヲ述ベル、反對ト

聽イタラ間違デアル、速記録ヲ御覽ニナレバ分ル、反對ト云フコトハ決シテ

言ハヌ、是ハ議場ノ問題デアル、利害ハドウ云フコトデアルカト云フコトヲ

言フノデ、反對ト云フコトモ言ハズ、斯ノ如キ修正ヲシヤウト云フコトモ言

ハヌ、反對ヲスルナラ……

○議長(楠本正隆君) 然ラバ、贊成ノ意ヲ述ベナサイ

○河島醇君(百七十九番) 本案ニ就イテ大ニ贊成ヲ致ス、本案全部ノ大體ニ就イテ最モ贊成ヲスルノデアル、諸テ此農工銀行ト云フモノハ、最モ範囲ノ

廣イモノデアルガ、此法案ノ趣意ハ、農ガ主トナルカ、工ガ主ト爲ルカ、或ハ工ハ農ニ依ツテ起ル、農ト工其モノガ獨立シテ爲スペキノ區別ガアル、此農工ト云フモノハ何ヲ以テ往クカト云ヘバ、此貸付方法ノ長短ニ於テ、其農

ト工トノ發達上、關係ハ如何デアルカト思フノデアル、若シ農工之ヲ同時ニ發達ヲ圖ルノ精神デアルナラバ、或ハ非常ナ巨額ヲ要スルコトデアラウガ、或又鑑定方法ニ於テ最モ攻究ヲ要サナケレバナラスト思フ、特ニ此第二條ト

云フモノハ、農工銀行ヲ置ク所ノ區域デアル、此區域ハ極ク嚴ニ制限ラ致シテアル、此區域ノ上ニ就イテ本員ガ政府委員ニ質問ヲシタ要點ハ何デアルカト云ヘバ、同一ノ區域ニ不動産ヲ所有シテ、其不動産ヲ以テ區域ノ銀行ガ抵當ニシテ、サウシテ他縣デ事業ヲ營マントスルトキハ、ドウデアルカ、例ヘバ東京ニ土地ヲ持フテ、東京ノ抵當銀行ニ抵當トシテ、目的ノ事業ハ北海道ニスルトキハドウデアルカト尋ねタラ、東京デナサントスル事業ハ、東京デ借ラナケレバナラスト云フ説明デアル、是ノ範圍ガドウデアルカト云フコトハ、本員ガ諸君ト共ニ大ニ攻究ヲシタイト思フノデアル、ソレハ何デアルカト云フト、米穀ノ變動デアル、若シ本日ノ如ク、地方モ八圓、若クハ九圓、斯ノ如キ高イ所ノ米價ヲ保ッテ居レバ、當ノ不動産デアル、即チ此法律ニ規定シテアル如ク、永年實收益ノアルモノトシテアル、然ル處經濟上ノ變動ニ於テ、特ニ不動産ニ向ツテハ直接ニ影響ヲ及スノデアル、ソレハ何デアルカト云フト、米穀ノ變動デアル、若シ本日ノ如ク、地方モ八圓、若クハ九圓、斯ノ如キ高イ所ノ米價ヲ保ッテ居レバ、公課額、租稅其他ヲ拂ッテモ、銀行ガ抵當トシテ居る年賦額ヲ拂フニ容易デアルガ、若シ米穀變動ノタメニ米價ガ六圓若クハ五圓臺ニ落チタナラバ、ドウ云フ影響ヲ及スカ、是レ亦大ニ攻究ヲ要スベキ事デアルノデス、ソレカラ殊ニ此第六條ノ營業ノ上ニ就イテ餘程廣イ意味ニ爲シテ居ル、或ハ銀行ニ向テハ……(吉本榮吉君)貴公ハ農工銀行案ニ贊成デアツテ中ニ這入ツテ第一條

カラ第四十七條マデハ反對デスカ「ト呼フ」何シデス、御聽キナサレバ分カル

(吉本榮吉君) 分ラヌ演説ヲシタマフナ「ト呼フ」殊ニ此營業上ノ上ニ就イテモ樞要ナル所ハ、即チ農工銀行ノ第六條デアル、六條ノ一項ハ即チ此銀行其モノ、本然ノ性質、本體ノ業務ガ示シテアル、第二項、第三項若クハ第四項ト云フモノハ特例デアル、第七條ニ於テハ又非常ナ制限ガ加ヘテアル……

〔ソレハ二讀會ニテヤルベシ」ト呼フ者アリ又「構ハズヤリタマヘ」ト

○河野廣中君(百五番) 先刻モ其故申述ベテ置キマシタガ、讀會ノ性質ノ分ラヌヤウナ說ハイクマイト思ヒマス

○河島醇君(百七十九番) 是ヲ攻究スルト云フノデアル、是カラ贊成スル所ヲ聽キタマヘ、半バヲ聽イテ……ソシナ分ラヌコトガアルモノカ

○河野廣中君(百五番) 読會ノ區別ヲ明ニスルヤウニ願ヒタイ

○議長(楠本正隆君) 河島君ニ申シマスガ、大體ニ於テ贊成デアルナラバ、成ルベクレダケ述ベラル、ガ宜シイ、併シ議案ノ内不都合ナ點ガアリテ、第二讀會デ修正案ヲ出スト云フコトニ附イテハ、第一讀會デ述ベラレテモ少モ差支ヘナイ、議場デモ其様ニ承知セラレタシ

○河島醇君(百七十九番) 私ハ是等ニ就イテ大ニ攻究セナクテハナラヌ

〔攻究スルナラニ讀會デヤリタマヘ「ト呼フ者アリ〕

○河島醇君(百七十九番) 諸君、御聽キニナクタラ分リマス

○藤田達芳君(六十四番) 河島君ニ忠告スル事ガアル

○河島醇君(百七十九番) 餘計ナ忠告ヲスルナ、ソコデ……

(此時議場騒然)

○議長(楠本正隆君) 餘リ騒擾スルト議長ハ差止メマスル、既ニ河島君ニハ注意シテ置イタガ、大體ガ贊成ナレドモ、中ニ不都合ナ點ガアルノデアル、本員ヲ述ブルハ差支ナシト認メマス

○田中鳥雄君(百二十八番) 貴公ガ攻究ヲシタニテ、逐條審議ノ際謹テ承ラウケレドモ、今此時ニ於テ攻究スル必要ハナインデアル、本員ハ聽ク耳ヲ持タス

○河島醇君(百七十九番) 此農工銀行ノ必要ハ最モ必要デアル、大ニ贊成ヲシタイモノデアル、大ニ贊成ヲスルモノデアル、速ニ成立ヲシタイモノデアル、併ナガラ若シ一步ヲ誤シタナラバ、百年ノ長計ヲ誤ルガ故ニ、大ニ其修

正ヲ爲スベキ所ハ修正セナクテハナラヌ、併ナガラ是ハ第二讀會ノ場合デアルガ故ニ、直ニ茲ニ修正スルコトハシナシ、二讀會ヲ期シテ修正案ヲ提出スルノデアル、抑此案ニ就イテハ一讀ヲ致シタ上ニ就イテモ大ニ疑フ點ガアル、又大ニ取捨スベキ事ガアル、ソレ故ニ吾々ハ代議士ノ體面ヲ思ヒ、又代議制ヲ重ズルガタメニ之ヲ輕々ニ通過スルガ如キ、唯御用ト云フ一字ノ下ニ

ドンヽ立ツガ如キ行爲ヲ爲サズ、十分討論審議ヲ致シ、十分ニ修正ヲ加ヘテ本案ノ通過ヲ求メントスルモノデアル、若シ御用ノ一字ノタメニ一瀉千里直チニ贊否ヲ表シタナラバ、國家百年ノ大計ヲ誤リ即チ國家ノ經濟ヲ紊亂セシムニ至ルデアラウト思フガ故ニ、大ニ之ガ審査ヲ要シ、併テ大ニ之ニ修正ヲ爲シテ、而シテ國家百年ノ大計ヲ誤ラザルヤウニスルノガ吾々議員ノ本職

〔討論終結ト呼フ者アリ〕

- (政府委員大藏書記官添田壽一君演壇ニ登ル)  
○政府委員(添田壽一君) 唯一言ダケ申上テ置キマス、最前……(簡単ト呼フ者アリ) 極簡單デゴザイマス、田口君ハ大藏省ニ先キニ驅付ケレバ宜ト云フ御言葉ヲ吐カレマシタガ、是ハ田口君ノ如キ大家ニ向テハ甚だ惜シムノデアリマス、苟モ原案ヲ提出シマシタ以上ハ、決シテ左様ナ御心配ハナカラシコトヲ希望致シマス、成ルベク公平ニ、成ルベク慎重ニ、成ルベク此本案ノ趣意ヲ達スルト云フコトニ努メル積デゴザイマスカラ、一言申上ゲテ置キマス
- 議長(楠本正隆君) ズニ於テ決議ヲ採リマスル、農工銀行法案第二讀會ヲ開クニ同意ノ諸君ハ起立
- 議長(楠本正隆君) 大多數、因テ該案ハ第一讀會ヲ開クコトニ決シマシタ、次ハ第四、農工銀行補助法案第一讀會ノ續
- 議長(楠本正隆君) 大多數、因テ該案ハ第一讀會ヲ開クコトニ決シマシタ、次ハ第五、裁判所管轄區域變更ニ關スル法律案ハ起立
- 議長(楠本正隆君) 民法修正案ノ委員會ヲ開クニ就イテ二讀會ヲ開クニ同意ノ諸君起立者多數
- 議長(楠本正隆君) 是レ亦大多數、因テ該案ハ第一讀會ヲ開クコトニ決シマシタ、次ハ第五、裁判所管轄區域變更ニ關スル法律案ハ起立
- 星亨君(八番) 民法委員會ヲ是ヨリ開キタウゴザイマス、御承認ヲ願ヒマス
- 議長(楠本正隆君) 沼田宇源太君

裁判所ノ設立及位置並管轄區  
第五 域ノ變更ニ關スル法律案(政  
府提出)

第一讀會ノ續(特別委員  
長報告)

- (沼田宇源太君演壇ニ登ル)  
○沼田宇源太君(一番) 今日ハ委員長ノ吉田君ガ差支ガゴザイマスルノデ、本員カラ御報告ヲ致シマス、委員長、理事選舉ノ事ハ豫て議長ヨリ御報告ニ爲シテアリマスル通デゴザイマシテ、改メテ申上ゲル必要ハナカラウト思ヒマス、御報告スルニ先シテ、此諸君ニ御配付ヲ致シテアリマスル所ノ報告ニ誤ガゴザイマスカラ、其印刷ノ誤ヲ一寸正誤シテ置キマスル、ソレハ第四頁ノ初ノ朱書ノ所ニ「信太郡」ト云フノガアリマス、此信太郡ノ中ノ「浮島村」ト云フ其次ニ「奥野村」ト云フ一箇村、即チ「奥野村」ト云フ三字ガ脱シタノデアリマス、ソレカラ第十一頁ノ和歌山縣ノ中デゴザイマスガ、是モ矢張朱書ノ所デアリマス、「粉河村」トアルノハ「粉河町」ニ爲ルノデゴザイマス、是丈正誤シテ置キマス、本案ノ理由モ極メテ簡單デゴザイマシテ、即チ東京府ト神奈川縣トノ行政管轄ガ變更ニ爲シテ結果トシテ、此司法管轄モ改メナケレバナラスト云フコト、ソレカラ各地方ノ裁判所ノ區域ニ就イテハ、成ルベク地

- 第四 農工銀行補助法案(政府提出) 第一讀會ノ續(特別委員  
長報告)
- 議長(楠本正隆君) 農工銀行補助法案ニ就イテ二讀會ヲ開クニ同意ノ諸君起立者多數
- 議長(楠本正隆君) 民法修正案ノ委員會ヲ開クコトニ決シマシタ、次ハ第五、裁判所管轄區域變更ニ關スル法律案ハ起立
- 星亨君(八番) 民法委員會ヲ是ヨリ開キタウゴザイマス、御承認ヲ願ヒマス
- 議長(楠本正隆君) 沼田宇源太君

- 方人民ヲシテ便宜ヲ得セシムルト云フニ過ギマセヌモノデゴザイマスカラ、其理由モ極テ簡單デアリマシテ、委員會ニ於テハ大體ノ上ハ固ヨリ此政府案ヲ贊成シタ譯デアリマス、然ルニ委員ニ付託ニナリマシテカラ後ニ、色々各地方ノ諸君カラ御持出シニナツタ處モゴザイマシテ、其御持出シニナツタ處ハ悉ク司法省ノ方ニ照會ヲ致シマシテ、ソレカラ又各地方ノ縣廳、並ニ裁判所ノ方ニモ照會ヲ致シマシテ、成ルベク地方ノ人民ヲシテ便宜ヲ得セシムルヤウニト云フ考フ以テ、種々取調ヲ致シマシテ、其便宜ト認メタル所ハ一々修正ヲ致シタ次第デゴザイマス、其修正ノ事ハ即チ諸君ニ御回シ申シテアリマスルカラ、茲ニ委シイ事ハ御報告ノ必要モナカラウト思ヒマス、併シ若シソレニ就キマシテ御質問ガゴザイマスレバ、ソレニ依ツテ御答ヲスルコトニ致シマス、唯茲ニ一言申上ゲテ置キマスルノハ、此横濱ノ管轄ニナリマスル所ノ津久井郡デゴザイマス、此津久井郡ニ對シテハ、横濱ノ管轄ニ爲ルト云フト、餘程不便デアルト云フ往々苦情ガアルヤウデゴザイマス、サリナガラソハ多少ノ不便ガアルト致シマシテモ、此行政區畫ノ變更ニ爲シタ以上ハ、若シ行政區畫ト裁判ノ區畫ト同一ニ爲シテ居リマセヌデバ、地方經濟ノ上デハ大變ナ面倒ガ生ジテ參ルノデゴザイマス、ソレデ日本ノ現在ノ制度ハ、總テ此行政區畫ト、司法ノ區畫トハ同一ニスルト云フ制度ニナツテ居リマスルカラ、是モ茲ニ於キマシテハ縱令地方ノ人民ニ多少不便ガアルテモ、是バ已ムヲ得ナイコト、委員會ハ考ヘマシテ、原案ヲ可決致シタル次第デゴザイマスル、是ダケ報告シテ置キマス
- 吉本榮吉君(八十二番) 此議案ニハ田口君、河島君モ別ニ御議論ナイヤウズルニ茲ニ高橋小十郎君ヨリ提出ニ爲リマシタ修正ガアリマスル、朗讀ヲサセマス
- 議長(楠本正隆君) 読會省略シテ、直ニ可決セラレンコトヲ希望シマスル(「贊成」ト呼フ者アリ)
- 議長(楠本正隆君) 読會省略ト云フコトニ御異議ナイト認メマスル、然ルニ茲ニ高橋小十郎君ヨリ提出ニ爲リマシタ修正ガアリマスル、朗讀ヲサセマス
- (町田書記官朗讀)
- 名古屋地方裁判所管内豊橋區裁判所三河、渥美郡寶飯郡トアル下エ八名郡ノ内南部、牛川村、下條東西村、玉川村、嵩山村、三輪村、多米村
- 除キ八名郡全町村
- 高橋小十郎君(百七十四番) 提出ノ理由ヲ簡單ニ茲デ述べテ置キタイト考ヘマス、本員ノ修正ノ理由ハ、地圖デ御案内ノ御方ハ速ニ分ル事デゴザイマスガ、簡単ニ述ベマスレバ、豊橋ヨリ新城ニ至ル里程ハ六里デアリマス、八名郡南部ノ六箇村ヨリ新城ニ至ル里程ハ、遠キハ五里半、近キハ三里半デ、右ノ六箇村ヨリ豊橋ニ至ル里程ハ、近キハ半里、遠キハ一里半デゴザイマス、故ニ修正ヲ要スルコトニシテ、加之豊橋ハ東ハ濱松、西ハ岡崎、其中央ノ市街、殊ニ海陸ノ便ヲ得ル地ニシテ、八名郡全町村ノ人民、日々ノ往返頻繁ナリ、因テ八名郡全町村ヲ、從前ノ通豊橋區裁判所管轄ニ据置クモ敢テ苦情モアリマセヌ、然レドモ八名郡北部ノ町村ニ至シテハ、新城區裁判所ノ管轄トスルガ地圖ニ依ツテ適當デアリマス、將タ八名郡南部六箇村ニ於テハ、地圖ニ依

